

# 2008 年のオーストラリアのサマータイム ( DST ) の変更

## 内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[範囲と影響](#)

[該当するシスコプラットフォーム](#)

[該当するシスコプラットフォーム](#)

[アプリケーション ネットワーキング サービス](#)

[インターフェイス/モジュール](#)

[Cisco IOS ソフトウェア](#)

[モバイル事業者](#)

[ネットワーク管理](#)

[オプティカル ネットワーク](#)

[ルータとスイッチ](#)

[セキュリティおよび VPN](#)

[サービス エクスチェンジ](#)

[ストレージ ネットワーキング](#)

[TelePresence](#)

[ビデオ、ケーブル、コンテンツ配信](#)

[音声とユニファイド コミュニケーション](#)

[ワイヤレス](#)

[設定と回避策](#)

[Active Network Abstraction\(ANA\)](#)

[適応型セキュリティ アプライアンス \( ASA \) と PIX プラットフォーム](#)

[アプリケーションおよびネットワークサービス](#)

[CatOS プラットフォーム](#)

[CiscoWorks](#)

[Digital Media Encoder](#)

[Digital Media Managerおよびビデオポータル](#)

[侵入検知および防御\(IPSおよび侵入検知システムサービスモジュール2\(IDSM2\)\)](#)

[Cisco IOS ソフトウェア プラットフォーム](#)

[Cisco IOS XR](#)

[NetFlow Collection Engine](#)

[ONS 15000 シリーズの製品](#)

[Security Monitoring, Analysis and Response System \( CS-MARS \)](#)

## [ストレージスイッチ\(SAN-OS\) – ストレージMDS 9500シリーズ](#)

### [音声およびユニファイドコミュニケーション製品](#)

### [VPN 3000 コンセントレータ \( Altiga OS \)](#)

#### [背景説明](#)

#### [関連情報](#)

## 概要

オーストラリアの5つのテリトリーは、2007 ~ 2008年の夏時間(DST)期間を、3月の最後の日曜日ではなく、4月(2008年4月6日)の最初の日曜日に終了します。2008-2009以降では、同じ法律によって、DSTの開始が10月の最後の日曜日から10月の最初の日曜日に変更されます。

夏時間の変更の概要				
	2006-2007	2007-2008	2008-2009	2009-2010
オーストラリア首都特別地域	2006年10月の最終日曜日から2007年3月の最終日曜日	2007年10月の最終日曜日から2008年4月の第1日曜日	2008年10月の第1日曜日から2009年4月の第1日曜日	2009年10月の第1日曜日から2010年4月の第1日曜日
ニューサウスウェールズ	2006年10月の最終日曜日から2007年3月の最終日曜日	2007年10月の最終日曜日から2008年4月の第1日曜日	2008年10月の第1日曜日から2009年4月の第1日曜日	2009年10月の第1日曜日から2010年4月の第1日曜日
ノーザンテリトリー	夏時間なし	夏時間なし	夏時間なし	夏時間なし
クイーンズランド	夏時間なし	夏時間なし	夏時間なし	夏時間なし
サウスオーストラリア	2006年10月の最終日曜日から2007年3月の最終日曜日	2007年10月の最終日曜日から2008年4月の第1日曜日	2008年10月の第1日曜日から2009年4月の第1日曜日	2009年10月の第1日曜日から2010年4月の第1日曜日
タスマニア	2006年10月第1日曜日から2007年3月最終日曜日	2007年10月第1日曜日から2008年4月第1日曜日	2008年10月の第1日曜日から2009年4月の第1日曜日	2008年10月の第1日曜日から2010年4月の第1日曜日
ビク	2006年	2007年	2008年10月	2009年

トリア	10月の最終日曜日から2007年3月の最終日曜日	10月の最終日曜日から2008年4月の第1日曜日	の第1日曜日から2009年4月の第1日曜日	10月の第1日曜日から2010年4月の第1日曜日
ウェスタンオーストラリア	2006年12月の第1日曜日から2007年3月の最終日曜日	2007年10月の最終日曜日から2008年3月の最終日曜日	2008年10月の最終日曜日から2009年3月の最終日曜日まで*	夏時間なし
*2009年、西オーストラリアはサマータイムの変更を再度評価し、2009-2010に再インストールしないことを投票しました。				

詳細については、オーストラリア政府のWebサイトをご覧ください。

<http://www.australia.gov.au/Time>

このドキュメントで提供される設定変更は、さまざまなタイムゾーンの夏時間に「プログラムされている」日付を変更するために必要です。新しいソフトウェアを実行している一部のデバイスでは、機能拡張要求がデバイスで実行しているソフトウェアのバージョンに含まれている場合、この変更を必要としない場合があります。この拡張機能を含むソフトウェアでは、古い夏時間の値は新しい夏時間の値に変更され、このドキュメントの設定変更は必要ではありません。各製品に関する詳細については、『[該当するシスコプラットフォーム](#)』を参照してください。

デバイスやプラットフォームのログやその他のタイムスタンプ付きの通信においてデバイスの時刻が正しくなるよう、古いルールを実行するデバイスでは設定またはOSの変更を行う必要があります。

[\[先頭に戻る\]](#)

## [前提条件](#)

### [要件](#)

このドキュメントに特有の要件はありません。

### [使用するコンポーネント](#)

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

### [表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

## [範囲と影響](#)

DSTの変更は、夏時間をサポートするように設定された自動時間変更をサポートするすべてのデバイスに影響します。この変更は、シスコおよびシスコ以外のデバイスに影響します。夏時間の開始と終了に対する変更の影響を判断するために、時間に敏感なメッセージングまたはその他のタイムスタンプ付き通信を使用するベンダーに連絡してください。

変更されていない影響を受けるデバイスでは、DST期間中の実際の時刻から1時間離れた時刻が表示される可能性があります。2008年には、DSTは3週間早く開始され、過去1年間よりも1週間遅れて終了します。この変更は、2008年4月に初めて有効になります。この変更は、通常の操作のトラブルシューティングやモニタリングの一部として実行されるイベント関連のアクティビティに重大な影響を及ぼす可能性があります。

将来のためにログをキャプチャし、関連付け、保存するセキュリティ関連のデバイスの場合、この時間変更によってイベントのシーケンスを再構築するために再現する必要があるような状況において誤ったログが提供される場合があります。誤ったタイムスタンプは、ただちに対応を要するイベントでは問題にならない可能性があります。ただし、将来的には、イベントで不正確な時間が表示されます。

AAA(Authentication Authorization Accounting)サーバ、コンテンツデバイス(CE)、cronジョブ、ビデオストリーミングサーバなどの時間ベースの制御とアクティビティを持つデバイスは、影響を受ける可能性があり、適切なベンダーに確認する必要があります。

その他の例としては、コール詳細レポートや請求情報に影響を与える可能性のある誤った時間で記録されたコールや、政府機関が定義した所定の時間外に顧客にダイヤルする不正確なキャンペーンダイヤル時間などがあります。これは政府規制の違反です。

したがって、オーストラリアのDSTルールを使用するように設定された認証サーバ、同期アクティビティ、スケジュールされたイベント(バッチジョブ、タイムバックアップ、自動ダイヤル機能やスクリプトなど)などの時間ベースの制御とアクティビティを持つデバイスは、新しいオーストラリアのDSTルールが適用されます。

[\[先頭に戻る\]](#)

## [該当するシスコプラットフォーム](#)

このセクションの表は、さまざまなプラットフォームのオペレーティングシステムに対するデフォルトの変更を追跡するために作成された、シスコの機能拡張IDを示します。これらの機能拡張を含むソフトウェアバージョンは、夏時間を確認するように適切に設定されていると、時刻を正しく変更します。

これらの機能拡張は含まれていませんが、夏時間をサポートするソフトウェアバージョンでは、2008年3月29日以降は無効となる以前の日付が使用されます。夏時間の変更は、次の地域に影響します。

- オーストラリア首都特別地域
- ニューサウスウェールズ
- サウスオーストラリア
- タスマニア
- ビクトリア

製品に関する詳細については、次のカテゴリを参照してください。

- [アプリケーション ネットワーキング サービス](#)

- [インターフェイス/モジュール](#)
- [Cisco IOS ソフトウェア](#)
- [モバイル事業者](#)
- [ネットワーク管理](#)
- [オプティカル ネットワーク](#)
- [ルータとスイッチ](#)
- [セキュリティおよび VPN](#)
- [ストレージ ネットワーキング](#)
- [TelePresence](#)
- [ビデオ、ケーブル、コンテンツ配信](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーション](#)
- [ワイヤレス](#)

各機能拡張と機能拡張が統合されているバージョンを表示するには、適切なシスコ追跡 ID をクリックするか、[バグ ツール \(登録ユーザ専用\)](#) を使用してください。この情報を表示するには、Cisco.com に登録する必要があります。製品に関する Field Notice の詳細なリストについては、[製品に関する Field Notice の概要ページ](#)を参照してください。

注：バグIDおよびField Noticeは、米国または北米のDSTアップデートを参照している可能性があります。これらのアップデートはオーストラリアにも適用されます。

[\[先頭に戻る\]](#)

## [該当するシスコプラットフォーム](#)

### [アプリケーション ネットワーキング サービス](#)

シスコ製品	シスコ追跡 ID	注意事項
ACE XML Gateway (反応性)	N/A	バージョン5.1.1で修正。
Application and Content Networking System (ACNS)	<a href="#">CSCsm40178</a>	この製品に関する情報については、このドキュメントの「構成と回避策」セクションの「アプリケーションとネットワークサービス」を参照してください。
コンテンツサービススイッチ (CSS)	N/A	clock summer-timeコマンドは、バージョン8.10/7.10以降で導入されました。
Global Site Selector(GSS)アプライアンス	N/A	clock user summer-timeコマンドは、バージョン1.3.2で導入されました。
Wide Area Application	<a href="#">CSCsm4</a>	この製品に関する情報については、このドキュメントの「構成と回避策」セ

Services ( WAAS )	<a href="#">0228</a>	クシヨンの「アプリケーションとネットワークサービス」を参照してください。
Wide Area File Services ( WAFS )	N/A	回避策の情報は、 <a href="#">このドキュメントの「構成と回避策」セクション</a> の「アプリケーションとネットワークサービス」を参照してください。この製品の詳細については、『 <a href="#">FN62677 : 米国の夏時間ポリシーの変更が 2007 年 3 月に発効 - コンテント ネットワーキング製品の対応</a> 』を参照してください。

[\[先頭に戻る\]](#)

## [インターフェイス/モジュール](#)

シスコ製品	シスコ追跡 ID	注意事項
Application Control Engine(ACE)モジュール	N/A	clock timezone standard <code>&lt;timezone&gt;</code> コマンドは、バージョン A.1.4 以降で導入されています。
Application Performance Assurance Enhanced Network Module(NME-APA)	N/A	夏時間の問題を解決するには、APA デバイス コンソールを使用します。この製品の詳細については、『 <a href="#">Cisco Application Performance Assurance Device Console User Guide</a> 』の「 <i>Device Setup and Management</i> 」セクションを参照してください。
Branch Routers Series Network Analysis Module(NME-NAM)	<a href="#">CS Csm05261</a> <a href="#">1 CS Csh30313</a>	<p>基盤のオペレーティング システムは、1.003 で修正されています。モジュール ソフトウェアは、2.3.4 で修正されています。パッチは Cat 6500 用の <a href="#">NAM(製品コード : WS-SVC-NAMx) ソフトウェアダウンロードページ</a>。この製品の詳細については、次のドキュメントを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">CSCsm05261: Australian and Argentina DST Changes</a></li> <li>• <a href="#">CSCsh30313: AIM-CUE NM-CUE NM-NAM NM-</a></li> </ul>

		<p><a href="#">CEなどのサービスエンジン上のUSのDSTの更新</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 『<a href="#">FN62682 : 米国の夏時間 ( DST ) ポリシーの変更が 2007 年 3 月に発効 - リリース 2.3.4 以前のすべての Cisco Unity Express ( CUE ) の対応</a>』</li> <li>• 『<a href="#">Cisco Unity Express 2.3 のリリースノート</a>』の「<b>重要事項</b>」のセクション</li> </ul>
<p>Catalyst 6500シリーズNetwork Analysis Module(NAM-1/NAM-2)</p>	<p><a href="#">CS Cs m0 526 1 CS Csh 303 13</a></p>	<p>基盤のオペレーティング システムは、1.003 で修正されています。モジュール ソフトウェアは、2.3.4 で修正されています。パッチは、<a href="#">Cisco 2800/3700/3800シリーズルータをサポートするプランチルータシリーズNAMのソフトウェアダウンロードページからダウンロード</a>できます。この製品の詳細については、次のドキュメントを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">CSCsm05261:Australian and Argentina DST Changes</a></li> <li>• <a href="#">CSCsh30313:AIM-CUE NM-CUE NM-NAM NM-CEなどのサービスエンジン上のUSのDSTの更新</a></li> <li>• 『<a href="#">FN62682 : 米国の夏時間 ( DST ) ポリシーの変更が 2007 年 3 月に発効 - リリース 2.3.4 以前のすべての Cisco Unity Express ( CUE ) の対応</a>』</li> <li>• 『<a href="#">Cisco Unity Express 2.3 のリリースノート</a>』の「<b>重要事項</b>」のセクション</li> </ul>
<p>Content Engine Network Module(NM-CE)</p>	<p><a href="#">CS Cs m0 526 1 CS Csh 303 13</a></p>	<p>基盤のオペレーティング システムは、1.003 で修正されています。モジュール ソフトウェアは、2.3.4 で修正されています。この製品の詳細については、次のドキュメントを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">CSCsm05261:Australian and Argentina DST Changes</a></li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">CSCsh30313:AIM-CUE NM-CUE NM-NAM NM-CEなどのサービスエンジン上のUSのDSTの更新</a></li> <li>• 『<a href="#">FN62682 : 米国の夏時間 ( DST ) ポリシーの変更が 2007 年 3 月に発効 - リリース 2.3.4 以前のすべての Cisco Unity Express ( CUE ) の対応</a>』</li> <li>• 『<a href="#">Cisco Unity Express 2.3 のリリースノート</a>』の「<b>重要事項</b>」のセクション</li> </ul>
コンテンツスイッチングモジュール ( CSM )	N/A	SUPブレードからclock calendar-validコマンドを実行します。
SSL対応コンテンツスイッチングモジュール(CSM-S)	N/A	変更は不要です。この製品はCSMから時間を取得します。
ファイアウォールサービスモジュール ( FWSM )	N/A	変更は不要です。この製品はCatOSから時間を引き出します。
共有ポートアダプタ(SPA)	N/A	
Unity Express Advanced Integration Module(AIM-CUE)	<a href="#">CS Csh 303 13</a>	<p>これらの製品の詳細については、次のドキュメントを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">CSCsh30313:AIM-CUE NM-CUE NM-NAM NM-CEなどのサービスエンジン上のUSのDSTの更新</a></li> <li>• 『<a href="#">FN62682 : 米国の夏時間 ( DST ) ポリシーの変更が 2007 年 3 月に発効 - リリース 2.3.4 以前のすべての Cisco Unity Express ( CUE ) の対応</a>』</li> </ul>
Unity Express ネットワークモジュール(NM-CUE)	<a href="#">CS Csm0526 1 CS Csh 303 13</a>	<p>基盤のオペレーティングシステムは、1.003 で修正されています。モジュール ソフトウェアは、2.3.4 で修正されています。この製品の詳細については、次のドキュメントを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">CSCsm05261:Australian and Argentina DST Changes</a></li> <li>• <a href="#">CSCsh30313:AIM-CUE</a></li> </ul>

		<p><a href="#">NM-CUE NM-NAM NM-CEなどのサービスエンジン上のUSのDSTの更新</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 『<a href="#">FN62682：米国の夏時間（DST）ポリシーの変更が2007年3月に発効 - リリース 2.3.4 以前のすべてのCisco Unity Express（CUE）の対応</a>』</li> <li>• 『<a href="#">Cisco Unity Express 2.3のリリースノート</a>』の「<b>重要事項</b>」のセクション</li> </ul>
--	--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

[\[先頭に戻る\]](#)

## Cisco IOS ソフトウェア

シスコ製品	シスコ追跡 ID	注意事項
Cisco IOS®ソリューション： <ul style="list-style-type: none"> <li>• Dynamic Multipoint VPN（DMVPN）</li> <li>• EasyVPN</li> <li>• IPSec</li> <li>• Service Module</li> <li>• WebVPN</li> </ul>	N/A	<p>VPN 3Kハードウェアは、GUIを使用して手動で変更する必要があります。  <b>Configuration &gt; System &gt; Generalの順に選択し、Time and Dateダイアログボックスで変更を行います。</b>VPN Clientアプリケーションは、Windowsの設定で変更する必要があります。VPN SPAは、Cisco IOSでclockコマンドを使用して変更します。回避策の情報については、<a href="#">このドキュメント</a>の「<b>設定と回避策</b>」セクションの「<a href="#">Cisco IOSソフトウェアプラットフォーム</a>」を参照してください。</p>

Cisco IOS ソフトウェアプラットフォーム	N/A	回避策の情報については、このドキュメントの「設定と回避策」セクションの「 <a href="#">Cisco IOSソフトウェアプラットフォーム</a> 」を参照してください。
Cisco IOS XR	N/A	回避策に関する情報については、このドキュメントの「設定と回避策」セクションのCisco IOS XRを参照してください。

[\[先頭に戻る\]](#)

## [モバイル事業者](#)

シスコ製品	シスコ追跡 ID	注意事項
無線アクセスネットワーク最適化(RAN-O)	N/A	変更は不要です。この製品は、Cisco IOSから時間を取得します。

[\[先頭に戻る\]](#)

## [ネットワーク管理](#)

シスコ製品	シスコ追跡 ID	注意事項
Access Control Server (ACS)	N/A	この製品にはMicrosoftからの更新が必要です。詳細については、 <a href="#">Microsoft Knowledgebaseの記事「942763—December 2007 for Microsoft Windows operating systems」</a> を参照してください。
Active Network Abstraction(ANA)バ	N/A	回避策に関する情報は、このドキュメントの「 <a href="#">構成と回避策</a> 」セクションの「アクティブネットワーク抽象化(ANA)」を参照してください。

ージ ョン 3.X		
Appli catio n Netw orkin g Mana ger(A NM)	N / A	変更は不要です。ANMはUTC(GMT)時間を使用 します。
Buildi ng Broa dban d Servi ce Mana ger ( BBS M )	C S C S m 9 6 9 7 1	この製品の詳細については、『 <a href="#">CSCsm96971：オーストラリアのDST変更/ア ルゼンチンのDST変更のためのOSの更新 2008</a> 』を参照してください。
Cisco Work s Com mon Servi ces ( C WCS )	C S C S m 4 3 7 9 7 C S C S I 5 8 5 8 0	この製品にはパッチが必要です。このパッチは 、 <a href="#">CiscoWorks Server CD-One Patches Software Downloadページからダウンロードで きます</a> 。この製品の詳細については、次のバグ を参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">CSCsm43797:CS3.0.xのDSTの変更</a></li> <li>• <a href="#">CSCsl58580:CS3.1.xのDSTの変更</a></li> </ul>
Cisco Work s LAN Mana geme nt Soluti on (	E O S / E O L	この製品のステータスの詳細については、「 <a href="#">CiscoWorks LAN Management Solutionソフト ウェアのバージョン比較</a> 」ページを参照してく ださい。

LMS )バ ー ジ ョ ン 2.2		
Cisco Work s LAN Mana geme nt Soluti on (LMS )バ ー ジ ョ ン 2.5 およ び 2.6	C S C S M 4 3 7 9 7	この製品のパッチにアクセスするには、 <a href="#">CiscoWorks Server CD-One Patchesを参照し  てください。</a> この製品に関する <a href="#">情報は、『  CS3.0.xのDSTの変更』</a> を参照してください。
Cisco Work s Netw ork Com plian ce Mana ger (N CM )	C S C S O 4 5 0 3 6	この製品に関する <a href="#">情報は、『CSCso45036 : オ  ーストラリアDSTに必要なパッチ』</a> を参照して ください。
Cisco Work s Small Netw ork Mana geme nt Soluti on (S NM S)	E O S / E O L	この製品は2008年3月31日に販売終了となりま す。この製品のステータスの詳細については、 「製品およびサービス」ページを参照してくだ さい。
Cisco Work s Voice Mana	C S C S M	この製品のパッチにアクセスするには、 <a href="#">Internetwork Performance Monitor Software  Download Webページ</a> を参照してください。こ の製品に関する <a href="#">情報は、『CS3.0.xのDSTの変  更』</a> を参照してください。

ger (CWVM)	4 3 7 9 7	
Cisco Works Interwork Performance Monitor(IPM)	C S C S m 4 3 7 9 7	この製品のパッチにアクセスするには、 <a href="#">Interwork Performance Monitor Software Download Webページ</a> を参照してください。この製品に関する情報は、『 <a href="#">CS3.0.xのDSTの変更</a> 』を参照してください。
Incident Control Server(ICSL)	E O S / E O L	この製品はMicrosoft OSから時間を引き出しません。時間はMicrosoft OSから取得されます。詳細については、 <a href="#">Microsoft Knowledgebaseの記事「942763—December 2007 for Microsoft Windows operating systems」</a> を参照してください。この製品はEOS/EOLです。この製品のステータスに関する詳細は、「 <a href="#">Cisco Incident Control System製品およびサービス</a> 」ページを参照してください。
侵入防御センサー	N / A	回避策に関する情報は、 <a href="#">このドキュメントの「構成と回避策」セクションの「侵入検知と防御(IPSおよび侵入検知システムサービスモジュール2(IDSM2))」</a> を参照してください。
IP Solution Center (ISC)	N / A	この製品では、JREのアップデートが必要です。JREをアップデートし、ISCサービスを停止して再起動します。Sun Developer Network(SDN)の記事を参照してください。 <a href="#">JREのアップデートに関する情報は、「JREソフトウェアのタイムゾーンデータバージョン」</a> を参照してください。
IPS イベントビューアー (IEV)	N / A	この製品にはMicrosoftからの更新が必要です。詳細については、 <a href="#">Microsoft Knowledgebaseの記事「942763—December 2007 for Microsoft Windows operating systems」</a> を参照してください。
License Manager (CLM)	N / A	CLMはローカル時間 ( 基盤となるオペレーティングシステムから取得 ) に依存します。必要に応じてOSパッチをインストールする必要があります。Sun Developer Network(SDN)の記事を参照してください。 <a href="#">JREのアップデートに関する情報は、「JREソフトウェアのタイムゾーンデータバージョン」</a> を参照してください。Microsoft Knowledgebaseの記事を参照してく

		<p>ださい。<a href="#">Microsoft Windowsオペレーティングシステム用の2007年12月の累積的なタイムゾーン更新プログラム(Microsoftの更新プログラムに関する情報)</a>。</p>
Mobile Wireless Transport Manager (MWTM)	N/A	<p>MWTM 6.0.2にアップグレードします。6.0.2パッチとCisco SGMおよびMWTM DST更新手順(MWTM-DST-Update-Procedure.pdf)は、<a href="#">Mobile Wireless Transport Managerソフトウェアダウンロード(登録ユーザ専用)</a>からダウンロードできます。MWTM 6.0.2の詳細については、『<a href="#">Mobile Wireless Transport Manager 6.0.2のリリースノート</a>』を参照してください。</p>
Monitor Director/Monitor Manager	N/A	<p>この製品は該当しません。</p>
Netflow Collection Engine (NFC)	N/A	<p>Java Runtime Environment(JRE)のアップデートをインストールする必要があります。Sun Developer Network(SDN)の記事を参照してください。<a href="#">JREのアップデートに関する情報は、「JREソフトウェアのタイムゾーンデータバージョン」</a>を参照してください。JREアップデートのインストール方法に関する情報は、このドキュメントの「設定と回避策」セクションの「<a href="#">Netflow Collection Engine</a>」を参照してください。</p>
Network Admission Control(NAC)アプリケーション(旧Cisco Clean Access)	N/A	<p>詳細については、<a href="#">Field Notice : FN62729 : 米国の夏時間ポリシーの変更が2007年3月に発効 - この製品に関する情報については、Cisco Clean Access製品の対応を参照してください。</a></p>
Network Analysis Module	CSMS	<p>基盤のオペレーティングシステムは、1.003で修正されています。モジュールソフトウェアは、2.3.4で修正されています。パッチは、<a href="#">Cisco 2800/3700/3800シリーズルータをサポートするプランチルータシリーズNAMのソフトウ</a></p>

le(NM-NAM)ソフトウェア	05261CSCsh30313	<p><a href="#">エアダウンロードページからダウンロード</a>できません。この製品の詳細については、次のドキュメントを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">CSCsm05261:Australian and Argentina DST Changes</a></li> <li>• <a href="#">CSCsh30313:AIM-CUE NM-CUE NM-NAM NM-CEなどのサービスエンジン上のUSのDSTの更新</a></li> <li>• 『<a href="#">FN62682：米国の夏時間（DST）ポリシーの変更が2007年3月に発効 - リリース2.3.4以前のすべてのCisco Unity Express（CUE）の対応</a>』</li> <li>• 『<a href="#">Cisco Unity Express 2.3のリリースノート</a>』の「重要事項」のセクション</li> </ul>
Network Connectivity Monitor	N/A	<p>この製品は販売終了です。この製品のステータスに関する<a href="#">詳細については、「Cisco Network Connectivity Monitor製品およびサービス」</a>ページを参照してください。</p>
ネットワークレジストラ（CNR）	N/A	<p>CNRは、基盤となるオペレーティングシステムから現地時間を取得します。オペレーティングシステムに適切なパッチを適用します。Sun Developer Network(SDN)の記事を参照してください。<a href="#">JREのアップデートに関する情報は、「JREソフトウェアのタイムゾーンデータバージョン」</a>を参照してください。Microsoft Knowledgebaseの記事を参照してください。<a href="#">Microsoft Windowsオペレーティングシステム用の2007年12月の累積的なタイムゾーン更新プログラム(Microsoftの更新プログラムに関する情報)</a>。</p>
Performance Visibility Manager (PVM)	CSCsm91033	<p>この製品に関する情報は、『<a href="#">CSCsm91033:PVMが2008 DSTタイムゾーンの変更に準拠していない</a>』を参照してください。</p>
QoSポリシーマネージャ（QPM）	CSCsm020	<p>CiscoWorks common servicesパッチを適用する必要があります。この製品に関する<a href="#">情報は、「オーストラリアのDST変更/アルゼンチンのDST変更」</a>を参照してください。</p>

	<a href="#">83</a>	
Sheer 3.3 および 3.4	EOS / EOL	この製品は現在販売されておらず、サポートされていない可能性があります。この製品に関する詳細は、「 <a href="#">Shall 3.1</a> 」、「 <a href="#">Shall 3.2</a> 」、「 <a href="#">Shall 3.3</a> 」、「 <a href="#">Shall 3.4</a> 」のEOS/EOLを参照してください。この製品は、SolarisのパッチとJREのアップデートを必要とします。JREアップデートに関する情報は、「 <a href="#">Java SEプラットフォームおよびSolaris OSに関するUSA 2007のDST問題の概要と緩和</a> 」を参照してください。
Signaling Gateway Manager (SGM)	N / A	MWTM 6.0.2にアップグレードします。6.0.2パッチとCisco SGMおよびMWTM DST更新手順(MWTM-DST-Update-Procedure.pdf)は、 <a href="#">Mobile Wireless Transport Managerソフトウェアダウンロード(登録ユーザ専用)</a> からダウンロードできます。MWTM 6.0.2の詳細については、「 <a href="#">Mobile Wireless Transport Manager 6.0.2のリリースノート</a> 」を参照してください。
Subscriber Edge Services Manager (SESM)	N / A	この問題に対処するには、SunのTZUpdaterツールを使用します。Sun Developer Network(SDN)の記事を参照してください。 <a href="#">JREのアップデートに関する情報は、「JREソフトウェアのタイムゾーンデータバージョン」</a> を参照してください。
Transport Manager (CTM)	N / A	CTMサーバは、主にSolaris上で動作するJavaアプリケーションです。CTMクライアント(またJavaアプリケーション)は、MicrosoftおよびSolarisで動作します。MicrosoftおよびJavaパッチを適用する必要があります。
Unified Operations Manager(Cisco UOM)バージョン 1.1および 2.0	<a href="#">CSCsk88524</a>	この製品に関する情報は、「 <a href="#">CSCsk88524:CUOMのベネズエラのタイムゾーン変更</a> 」を参照してください。
WAN	N	サーバでタイムゾーンを変更したら、CWMを

Manager (CWM)	/ A	コールドスタートする必要があります。コアを停止し、新しいタイムゾーンを使用してサーバを設定し、CWMをコールドスタートして、古い時間の影響を受けるエントリ (統計やアラームなど) からデータベースをクリーニングします。コールドスタートを使用すると、CWMがスイッチと同期するときに新しいタイムゾーンを使用できます (タイムゾーンを変更した場合と変更していない場合があります)。
---------------	-----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

[\[先頭に戻る\]](#)

## オプティカル ネットワーク

シスコ製品	シスコ追跡 ID	注意事項
ONG オプティカル製品	N/A	
ONS 15000 シリーズの製品	N/A	回避策に関する情報は、 <a href="#">このドキュメント</a> の「構成と回避策」セクションの「ONS 15000シリーズ製品」を参照してください。

[\[先頭に戻る\]](#)

## ルータとスイッチ

シスコ製品	シスコ追跡 ID	注意事項
3200シリーズワイヤレスおよびモバイルルータ	N/A	変更は不要です。この製品は、Cisco IOSから時間を取得します。
7200 シリーズ ルータ	N/A	回避策の情報については、 <a href="#">このドキュメント</a> の「設定と回避策」セクションの「 <a href="#">Cisco IOS</a> ソフトウェアプラットフォーム」を参照してください。
7600 シリーズ ルータ	N/A	回避策の情報については、 <a href="#">このドキュメント</a> の「設定と回避策」セクションの「 <a href="#">Cisco IOS</a> ソフトウェアプラ

		ットフォーム」を参照してください。
アクセスレベルルータ (VG224、IAD2xxx、 AS5xxx、UC500、8XX、 17XX 18XX、28XX、 37XX、38XX)	N/A	これらの製品は、Cisco IOSから時間を引き出 します。
Carrier Routing System ( CRS )	<a href="#">CS Csh 954 51 CS Csh 380 30 CS Csi 076 61 CS Csi 096 51</a>	この製品の詳細につい ては、次の Field Notice を参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>『<a href="#">FN62767 : Cisco Customer Response Solution ( CRS ) - 2007 年の夏時間の変更に関する考慮事項</a>』</li> <li>『<a href="#">FN62571 : Cisco Unified Contact Center Enterprise、Cisco Unified Customer Voice Portal ( CVP )、および Cisco Customer Response Solution ( CRS ) - 2007 年の夏時間の変更と PG タイムゾーンの問題に関する考慮事項</a>』</li> </ul>
CatOS プラットフォーム	N/A	回避策に関する情報は、 <a href="#">このドキュメント</a> の「設定と回避策」セクションの「CatOSプラットフォーム」を参照してください。
ギガビットスイッチルータ(GSR)	N/A	回避策の情報については、 <a href="#">このドキュメント</a> の「設定と回避策」セクションの「 <a href="#">Cisco IOS</a> ソフトウェアプラットフォーム」を参照してください。

[\[先頭に戻る\]](#)

[セキュリティおよび VPN](#)

シスコ製品	シスコ 追跡 ID	注意事項
Access Control Server Solution Engine(ACSSE)	N/A	この製品にはMicrosoftからの更新が必要です。詳細については、 <a href="#">Microsoft Knowledgebaseの記事「942763—December 2007 for Microsoft Windows operating systems」</a> を参照してください。
適応型セキュリティ アプライアンス (ASA) プラットフォーム	N/A	回避策に関する情報は、 <a href="#">このドキュメントの「設定と回避策」</a> セクションの「 <a href="#">適応型セキュリティアプライアンス(ASA)</a> およびPIXプラットフォーム」を参照してください。
Adaptive Security Device Manager (ASDM)	N/A	回避策に関する情報は、 <a href="#">このドキュメントの「設定と回避策」</a> セクションの「 <a href="#">適応型セキュリティアプライアンス(ASA)</a> およびPIXプラットフォーム」を参照してください。
ASA Advanced Inspection and Preventionストレージサービスモジュール (AIP-SSM)	N/A	回避策に関する情報は、 <a href="#">このドキュメントの「設定と回避策」</a> セクションの「 <a href="#">適応型セキュリティアプライアンス(ASA)</a> およびPIXプラットフォーム」を参照してください。
ASA IPSec	N/A	回避策に関する情報は、 <a href="#">このドキュメントの「設定と回避策」</a> セクションの「 <a href="#">適応型セキュリティアプライアンス(ASA)</a> およびPIXプラットフォーム」を参照してください。
ASA WebVPN	N/A	回避策に関する情報は、 <a href="#">このドキュメントの「設定と回避策」</a> セクションの「 <a href="#">適応型セキュリティアプライアンス(ASA)</a> およびPIXプラットフォーム」を参照してください。
CiscoWorks Security Information Management Solution(CW-SIMS)	CSCsm33334	この製品には更新が必要です。このページは、 <a href="#">CWSIMS Software Update Software Download</a> ページからダウンロードできます。この製品の詳細は、 <a href="#">『CSCsm33334：オーストラリアおよびDST変更の修正が必要』</a> を参照してください。
CiscoWorks VPN/Security	N/A	この製品にはMicrosoftからの更新が必要です。詳細については、

Management Solution(VMS):I DSMCおよびセ キュリティモニ タ	A	<a href="#">Microsoft Knowledgebaseの記事「942763—December 2007 for Microsoft Windows operating systems」</a> を参照してください。
Content Security and Control Storage Services Module(CSC SSM)	N / A	回避策に関する情報は、 <a href="#">このドキュメントの「設定と回避策」</a> セクションの「 <a href="#">適応型セキュリティアプライアンス(ASA)</a> およびPIXプラットフォーム」を参照してください。
Distributed Denial of Service(DDoS) GuardおよびDetectorアプライアンス	N / A	新しい夏時間の設定を組み込むために、システムをファームウェアバージョン6.0(5)以降にアップグレードします。
ハイブリッドアナログおよびネットワークビデオサーベイランス製品(Video Surveillance Stream Manager)	N / A	これらの製品にはMicrosoftのパッチが必要です。詳細は、 <a href="#">『オーストラリア2008夏時間プランニングガイド』</a> を参照してください。
侵入検知および防御(IPSおよび侵入検知システムサービスモジュール 2(IDSM2))	N / A	回避策に関する情報は、 <a href="#">このドキュメントの「構成と回避策」</a> セクションの「 <a href="#">侵入検知と防御(IPSおよび侵入検知システムサービスモジュール 2(IDSM2))</a> 」を参照してください。
NAC アプライアンス ( Cisco Clean Access )	N / A	この製品の詳細については、 <a href="#">『FN62729 : 米国の夏時間ポリシーの変更が2007年3月に発効 - Cisco Clean Access製品の対応』</a> を参照してください。
ネットワーク中心のビデオサーベイランス製品	N / A	これらの製品では、SuSEオペレーティングシステムをバージョン2.3.3-94.84以降にアップデートする必要があります。詳細は、「 <a href="#">タイムゾーンの推奨される更新</a> 」を参照してください。 注：2006年に実施されたオーストラリアのタイムゾーン変更は、Cisco Video Surveillance Media Serverソフトウェアに含まれています。
PIX プラットフォーム	N / A	回避策に関する情報は、 <a href="#">このドキュメントの「設定と回避策」</a> セクションの「 <a href="#">適応型セキュリティアプライアンス(ASA)</a> およびPIXプラットフォーム」を参照してください。

PIX Device Manager ( PDM )	N / A	回避策に関する情報は、 <a href="#">このドキュメントの「設定と回避策」</a> セクションの「 <a href="#">適応型セキュリティアプライアンス(ASA)</a> およびPIXプラットフォーム」を参照してください。
Secure ACS アプライアンス	N / A	この製品にはMicrosoftからの更新が必要です。詳細については、 <a href="#">Microsoft Knowledgebaseの記事「942763—December 2007 for Microsoft Windows operating systems」</a> を参照してください。
Security Agent(CSA)	N / A	CSAはオペレーティングシステムから時間を取得します。CSAエージェントは、RedHatおよびSolarisで使用できます。詳細については、『 <a href="#">Release Notes for Management Center for Cisco Security Agents 5.2</a> 』の「 <a href="#">System Requirements (Agent)</a> 」セクションを参照してください。
Security Manager	N / A	Cisco Security Managerは、サーバオペレーティングシステムから時間を取得します。最新の夏時間ルールを取得するために、Windowsオペレーティングシステムを更新します。CSMは、Windows 2000 ServerおよびWindows 2003 Serverでサポートされています。詳細については、 <a href="#">Microsoft Knowledgebaseの記事「942763—December 2007 for Microsoft Windows operating systems」</a> を参照してください。
Security Monitoring, Analysis and Response System ( CS-MARS )	CSCsl01098	リリース6.0.1で修正されました。回避策の情報については、このドキュメントの「 <a href="#">設定と回避策</a> 」セクションの「 <a href="#">Security Monitoring, Analysis and Response System (CS-MARS)</a> 」を参照してください。この製品の詳細については、『 <a href="#">CSCsl01098 : ベネズエラとアルゼンチンのタイムゾーン変更のパッチを含む</a> 』を参照してください。
Trust Agent(CTA)	N / A	バージョン2.4.1で修正。
VPN 3Kクライアント	N / A	VPN 3Kハードウェアは、GUIを使用して手動で変更する必要があります。 <b>Configuration &gt; System &gt; General</b> の順に選択し、Time and Dateダイアログボックスで変更を行います。VPN Clientアプリケーション

		<p>ンは、Windowsの設定で変更する必要があります。VPN SPAは、Cisco IOSでclockコマンドを使用して変更します。回避策の情報については、<a href="#">このドキュメントの「設定と回避策」</a>セクションの「Cisco IOSソフトウェアプラットフォーム」を参照してください。</p>
VPN 3000 コンセントレータ (Altiga OS)	EOS / EOL	<p>この製品は現在販売されておらず、サポートされていない可能性があります。この製品の詳細については、<a href="#">「Cisco VPN 3000シリーズコンセン</a> <a href="#">トレータ製品およびサービス」</a> ページを参照してください。回避策に関する情報は、<a href="#">このドキュメントの「構成と回避策」</a>セクションの「VPN 3000 コンセントレータ(Altiga OS)」を参照してください。</p>

[\[先頭に戻る\]](#)

## [サービス エクスチェンジ](#)

シスコ製品	シスコ追跡ID	注意事項
Service Control Application for Broadband	N/A	<p>この製品は、基盤となるJREに依存しています。新しい夏時間に対応するには、JREを更新する必要があります。JREアップデートの詳細については、<a href="#">「JREソフトウェアのタイムゾーンデータのバージョン」</a> を参照してください</p>
Service Control Collection Ma	N/A	<p>この製品は、基盤となるJREに依存しています。新しい夏時間に対応するには、JREを更新する必要があります。JREアップデートの詳細については、<a href="#">「JREソフトウェアのタイムゾーンデータのバージョン」</a> を参照してください</p>

nager		
サービスコントロールエンジン (SCE)	N/A	SCEオペレーティングシステムは、指定した日付に自動的にDSTに切り替え、標準時刻に戻るよう設定できます。夏時間が毎年同じ日（米国の場合と同様）に発生する場合は、clock summer-timeコマンドを使用して、夏時間の切り替えを繰り返し行うよう設定できます。 注：米国の夏時間ルールは、clock summer-timeコマンドのデフォルト値です。
Service Controller Subscriber Manager	N/A	この製品は、基盤となるJREに依存しています。新しい夏時間に対応するには、JREを更新する必要があります。JREアップデートの詳細については、「 <a href="#">JREソフトウェアのタイムゾーンデータのバージョン</a> 」を参照してください

[\[先頭に戻る\]](#)

## [ストレージ ネットワーキング](#)

シスコ製品	シスコ追跡 ID	注意事項
ストレージスイッチ(SAN-OS) – ストレージ MDS 9500 シリーズ	N/A	このドキュメントの「 <a href="#">構成と回避策</a> 」セクションの「 <a href="#">ストレージ・スイッチ(SAN-OS) – ストレージ MDS 9500 シリーズ</a> 」を参照してください。

[\[先頭に戻る\]](#)

## [TelePresence](#)

シスコ製品	シスコ追跡 ID	注意事項
TelePresence Codec	<a href="#">CSCsk44933</a> 3	ポリシーの変更は、TelePresence Codecバージョン1.2に組み込まれていません。この製品の詳細については、『 <a href="#">CSCsk44933:CTSでTZデータベースを再構築する必要がある</a> 』を参照してください。
TelePresence Manager	N/A	ポリシーの変更は、TelePresence Managerバージョン1.2に組み込まれていません。詳細については、『 <a href="#">Field Notice:FN62918：ニュージーランドの夏時間ポリシーの変更が2007年9月に発効 - Cisco TelePresence Codec、Cisco TelePresence Manager(CTMS)、および Cisco TelePresence Multipoint Switch(CTMS)に</a> 』に。

[\[先頭に戻る\]](#)

## [ビデオ、ケーブル、コンテンツ配信](#)

シスコ製品	シスコ追跡 ID	注意事項
Digital Media Encoder	N/A	この製品に関する情報は、このドキュメントの「構成と回避策」セクションの「デジタルメディアエンコーダ」を参照してください。
Digital Media Manager	N/A	この製品に関する情報は、 <a href="#">このドキュメントの「構成と回避策」セクションの「デジタルメディアマネージャとビデオポータル」</a> を参照してください。
ビデオポータル	N/A	この製品に関する情報は、 <a href="#">このドキュメントの「構成と回避策」セクションの「デジタルメディアマネージャとビデオポータル」</a> を参照してください。

[\[先頭に戻る\]](#)

## [音声とユニファイド コミュニケーション](#)

複数の Cisco Unified Communications 製品があるシステムを稼働している場合、製品をアップデートするために推奨される順序で適切なシステム アップグレードのマニュアルを参照してくださ

い。システムが構築される Unified CallManager のバージョンごとに別のシステム アップグレードのマニュアルがあります。

Unified CallManager 4.x をベースとするシステム テスト リリースの情報、システム アップグレードのマニュアルを検索するには、次の手順を実行します。

1. [http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/uc\\_system/GB\\_resources/ipcmatrix.htm](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/uc_system/GB_resources/ipcmatrix.htm) にアクセスします。
2. 使用しているリリース セットに該当する列見出しをクリックします。(システム テストのリリース バージョンは Unified CallManager のバージョンと同じではありません)。
3. システム アップグレードのマニュアルのリンクに移動します。

注: 「Unable to open script」というエラーが表示された場合は、DSTパッチを実行する前に Cisco Callmanagerで実行されている侵入防止ソフトウェアまたはCisco Security Agentを無効にします。

Unified CallManager 5.x をベースとする Unified Communications Systems の情報、システム アップグレードのマニュアルを検索するには、次の手順を実行します。

1. [http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/uc\\_system/unified/communications/system/ucstart.htm](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/uc_system/unified/communications/system/ucstart.htm) にアクセスします。
2. 使用しているシステム リリースに対応するリンクをクリックします。(システム テストのリリース バージョンは、通常 Unified CallManager のバージョンと同じですが、必ず同じとは限りません)。
3. [Prepare and Plan] タブをクリックし、ページの左側にある目次で [Planning Your System Upgrade] リンクをクリックします。

シスコ製品	シスコ追跡ID	注意事項
エージェントデスクトップ (CAD)	<a href="#">CSCsm85615</a>	この製品の詳細については、『 <a href="#">CSCsm85615:07/08オーストラリアのDST変更に関するCADおよびCSDの考慮事項</a> 』を参照してください。
Contact Center Express (CCX) を使用したエージェントデスクトップ (CAD)	<a href="#">CSCsm5114</a>	

	<a href="#">5</a>	
BTS 10200 Softswitch	<a href="#">CSCsm62132</a>	この製品の詳細については、 <a href="#">CSCsm62132: オーストラリア向け2008およびアルゼンチン向けBTS 10200向けDSTの変更を参照してください。</a>
Collaboration Server	<a href="#">CSCso43438</a>	この製品に関する情報は、『 <a href="#">CSCso43438:2008オーストラリアのサマータイム変更に関する考慮事項</a> 』を参照してください。
Computer Telephony Integration Option(Java CIL)バージョン 6.0、7.0、7.1以降	NA	回避策に関する情報は、 <a href="#">このドキュメントの「構成と回避策」セクションの「音声とユニファイドコミュニケーション製品」</a> を参照してください。
Conference Connection (CC)	<a href="#">CSCsl16516</a> <a href="#">CSCsz86171</a>	Cisco Conferencing Connectionサーバが新しいDSTポリシーに準拠していることを確認するには、Media Convergence Server(MCS)Microsoftオペレーティングシステムにパッチを適用する必要があります。この製品の詳細については、次のバグを参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">CSCsl16516:DST:2008年オーストラリアのサマータイム変更に必要なMCS-OSアップデート</a></li> <li>• <a href="#">CSCsz86171:DST:2009 W.オーストラリアのDST除去に必要なMCS OSアップデート</a></li> </ul>
ダイナミックコンテンツアダプタ(DCA)	<a href="#">CSCso43602</a>	<a href="#">CSCso43602 - DST:この製品に関する情報については、2008年オーストラリアサマータイムの変更に関する考慮事項を参照してください。</a>

	4 3 7 2 1	
Email Manager	C S C s o 4 3 6 0 2	<a href="#">CSCso43602 - DST:この製品に関する情報については、2008年オーストラリアサマータイムの変更に関する考慮事項を参照してください。</a>
Emergency Responder ( CER )	C S C s o 4 4 3 7 8	この製品に関する詳細は、『 <a href="#">CSCso44378:ENTER_TITLE_HERE</a> 』を参照してください。
Enterprise Reporting ( ICM および IPCC/Contact Center用 ) バージョン5.0、6.0、および7.x	C S C s o 2 1 1 4 9	この製品はWindowsとJavaに依存しています。 <a href="#">CSCso21149 - DST:オーストラリア2008年のサマータイム変更に必要なJRE/JDKの更新</a> を参照してください。
Fax Server	C S C s l 1 6 5 1 6 C S C s z 8 6 1 7 1	この製品の詳細については、次のドキュメントを参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">CSCsl16516:DST:2008年オーストラリアのサマータイム変更に必要なMCS-OSアップデート</a></li> <li>• <a href="#">CSCsz86171:DST:2009 W.オーストラリアのDST除去に必要なMCS OSアップデート</a></li> </ul>

	7 1	
IP Contact Center(IPCC)Enterpriseバージョン4.x、5.0、6.0、およびそれ以降のIP Contact Center(IPCC)Hostedバージョン4.x、5.0以降	C S C S S O 2 1 1 4 9	この製品はWindowsとJavaに依存しています。回避策に関する情報は、 <a href="#">このドキュメントの「構成と回避策」セクションの「音声とユニファイドコミュニケーション製品」</a> を参照してください。 <a href="#">CSCso21149-DST:オーストラリア2008年のサマータイム変更に必要なJRE/JDKの更新</a> を参照してください。
Intelligent Contact Management(ICM)Enterpriseバージョン4.x、5.0、6.0およびそれ以降のIntelligent Contact Management(ICM)Hostedバージョン4.x、5.0以降	C S C S S O 2 1 1 4 9	この製品はWindowsとJavaに依存しています。回避策に関する情報は、 <a href="#">このドキュメントの「構成と回避策」セクションの「音声とユニファイドコミュニケーション製品」</a> を参照してください。 <a href="#">CSCso21149(DST:オーストラリア2008年のサマータイム変更に必要なJRE/JDKの更新)</a> を参照してください。
IP Communicator (CIPC)	C S C S S O 2 2 6 6 5	この製品の詳細は、『 <a href="#">CSCsm22665:オーストラリアのDSTの変更が2008年のCIPCに影響を与える</a> 』を参照してください。
IP Interoperability and Collaboration System (IPICS)	C S C S S I 9 4 7 7 5 C S C S I 9 4 7 6	IPICSオペレーティングシステムでは、新しいオーストラリアのDST変更に準拠するためにアップデートが必要です。この製品の詳細については、次のバグを参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">CSCsI94775:IPICS Server:オーストラリアのタイムゾーン-JVM</a></li> <li>• <a href="#">CSCsI94766:IPICS Server:オーストラリアのタイムゾーン-OS</a></li> </ul>

	<a href="#">6</a>	
IP SoftPhone	N / A	Cisco IP Softphoneは販売終了です。オーストラリアの新しい夏時間ルールに準拠するには、オペレーティングシステムを更新する必要があります。
Media Blender(CMB)	<a href="#">C</a> <a href="#">S</a> <a href="#">C</a> <a href="#">S</a> <a href="#">o</a> <a href="#">4</a> <a href="#">3</a> <a href="#">5</a> <a href="#">6</a> <a href="#">8</a>	<a href="#">CSCso43568 - DST:この製品に関する情報については、2008年オーストラリアサマータイムの変更に関する考慮事項を参照してください。</a>
Media Convergence Server(MCS)Windowsリリース	<a href="#">C</a> <a href="#">S</a> <a href="#">C</a> <a href="#">S</a> <a href="#">I</a> <a href="#">1</a> <a href="#">6</a> <a href="#">5</a> <a href="#">1</a> <a href="#">6</a> <a href="#">C</a> <a href="#">S</a> <a href="#">C</a> <a href="#">S</a> <a href="#">Z</a> <a href="#">8</a> <a href="#">6</a> <a href="#">1</a> <a href="#">7</a> <a href="#">1</a>	この製品の詳細については、次のドキュメントを参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">CSCsl16516:DST:2008年オーストラリアのサマータイム変更に必要なMCS-OSアップデート</a></li> <li>• <a href="#">CSCsz86171:DST:2009 W.オーストラリアのDST除去に必要なMCS OSアップデート</a></li> </ul>
MGXメディアゲートウェイ	N / A	MGXプラットフォームは、ネットワーク内で最も低い数のノードを設定することによって、オフセットを手動で修正します。詳細については、 <a href="#">Field Notice : FN62702 : 米国の夏時間ポリシーの変更が2007年3月に発効 - MGX、IGX、およびBPXプラットフォームの場合はresetコマンドの例を参照します。</a>
Outbound Option ( ICMおよびIPCC/Contact Center用 )バージョン6.0、7.0、7.1以降	<a href="#">C</a> <a href="#">S</a> <a href="#">C</a> <a href="#">S</a> <a href="#">I</a> <a href="#">4</a> <a href="#">1</a> <a href="#">7</a> <a href="#">5</a>	回避策に関する情報は、このドキュメントの「構成と回避策」セクションの「音声とユニファイドコミュニケーション製品」を参照してください。この製品に関する情報は、『 <a href="#">アウトバウンドオプションで必要なオーストラリアのDST変更</a> 』を参照してください。

	<a href="#">6</a>	
パーソナルアシスタント(CPA)	EOS / EOL	Cisco Personal Assistantはソフトウェアサポート終了で、オーストラリアの夏時間の変更については更新されません。
PSTN Gateway ( PG W2200 )	N / A	パッチが必要です。詳細については、『 <a href="#">Sun Solution 201084:オーストラリア(2006)、米国(2007)およびその他の夏時間(DST)の変更</a> 』。
サポートツール - 2.x	CSCs021254	変更は不要です。この製品はWindowsとJavaに依存しています。
Unified Application Environment (CUAE)	CSCsl16516 / CSCsz86171	この製品の詳細については、次のドキュメントを参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">CSCsl16516:DST:2008年オーストラリアのサマータイム変更に必要なMCS-OSアップデート</a></li> <li>• <a href="#">CSCsz86171:DST:2009 W.オーストラリアのDST除去に必要なMCS OSアップデート</a></li> </ul>
Unified CallManager Express ( CCM E )	N / A	回避策の情報については、このドキュメントの「 <a href="#">設定と回避策</a> 」セクションの「 <a href="#">Cisco IOSソフトウェアプラットフォーム</a> 」を参照してください。
Unified CallManager ITM	N / A	このドキュメントの「 <a href="#">設定と回避策</a> 」セクションの「 <a href="#">Cisco IOSソフトウェアプラットフォーム</a> 」の説明に従って、clock summer-timeコマンドを使用します。

Unified  
Communications  
Manager(CUCM)  
バージョン  
3.xおよび4.x

C  
S  
C  
S  
I  
0  
4  
6  
4  
1  
C  
S  
C  
S  
I  
1  
6  
4  
9  
1  
C  
S  
C  
S  
I  
1  
6  
5  
0  
6  
C  
S  
C  
S  
I  
1  
6  
5  
0  
0  
C  
S  
C  
S  
I  
1  
6  
5  
1  
3  
1  
C  
S  
C  
S  
I  
1  
6  
5  
1  
5  
1  
C  
S  
C  
S  
I  
1  
6  
5  
1  
6  
C  
S  
C  
S  
I  
1  
6  
5  
1  
7  
1  
C  
S  
C  
S  
I  
1  
6  
5  
1  
8  
6  
1

この製品の詳細については、次のバグを参照してください。

- [CSCsl04641:DST:2008年のオーストラリアのサマータイム変更に必要なコミュニケーションマネージャの更新](#)
- [CSCsl16491:DST:2008年のオーストラリアのサマータイム変更に必要なコミュニケーションマネージャのToD更新](#)
- [CSCsl16506:DST:2008年オーストラリアのサマータイム変更に必要なComm Manager JREアップデート](#)
- [CSCsl16500:DST:2008年オーストラリアのサマータイム更新に必要なRTMT更新](#)
- [CSCsz86131:DST:2009 W. オーストラリアのDSTの削除にComm Managerのアップデートが必要](#)
- [CSCsz86136:DST:2009 W. オーストラリアのDSTの削除に必要なComm Manager ToDアップデート](#)
- [CSCsz86151:DST:2009 W. オーストラリアのDSTの削除に電話の更新が必要](#)
- [CSCsz86156:DST:3951 2009 W. オーストラリアのDSTの削除に電話のアップデートが必要](#)
- [CSCsz86184:DST:ポートCM DB for 2009 W. オーストラリアのDST削除](#)
- [CSCsz86171:DST:2009 W. オーストラリアのDST除去に必要なMCS OSアップデート](#)
- [CSCtb19754:port of CUCM CSCsz86131, 2009 W. Australia DST removal](#)



	S C t b 1 9 7 5 4	
<p>Unified Communication s Manager(CUC M)バージョン 5.xおよび6.x</p>	C S C S l 0 4 6 4 1 C S C s l 1 6 5 0 8 C S C S l 1 6 5 0 0 C S C S l 1 6 5 1 9 C S C s z 8 6 1 3	<p>この製品の詳細については、次のバグを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">CSCsl04641:DST:2008年のオーストラリアのサマータイム変更に必要なコミュニケーションマネージャの更新</a></li> <li>• <a href="#">CSCsl16508:DST:2008年オーストラリアのサマータイム変更に必要なComm Manager JREアップデート</a></li> <li>• <a href="#">CSCsl16500:DST:2008年オーストラリアのサマータイム更新に必要なRTMT更新</a></li> <li>• <a href="#">CSCsl16519:DST:2008年オーストラリアのサマータイム変更に必要なUnified OSの更新</a></li> <li>• <a href="#">CSCsz86131:DST:2009 W. オーストラリアのDSTの削除にComm Managerのアップデートが必要</a></li> <li>• <a href="#">CSCsz86136:DST:2009 W. オーストラリアのDSTの削除に必要なComm Manager ToDアップデート</a></li> <li>• <a href="#">CSCsz86151:DST:2009 W. オーストラリアのDSTの削除に電話の更新が必要</a></li> <li>• <a href="#">CSCsz86156:DST:3951 2009 W.オーストラリアのDSTの削除に電話のアップデートが必要</a></li> <li>• <a href="#">CSCsz86184:DST:ポートCM DB for 2009 W.オーストラリアのDST削除</a></li> <li>• <a href="#">CSCsz86171:DST:2009 W. オーストラリアのDST除去に必要なMCS OSアップデート</a></li> <li>• <a href="#">CSCtb19754:port of CUCM CSCsz86131, 2009 W. Australia DST removal</a></li> </ul>

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

	<a href="#">C tb 1 9 7 5 4</a>	
Unified Contact Center EnterpriseおよびHostedバージョン7.0、7.1以降	<a href="#">N / A</a>	回避策に関する情報は、 <a href="#">このドキュメントの「構成と回避策」セクションの「音声とユニファイドコミュニケーション製品」</a> を参照してください。
Unified Contact Center Express(CCX)とUnified IP Interactive Voice Response(IP IVR)	<a href="#">C S C s m 5 1 1 9 4</a>	<p>この製品の詳細については、次のドキュメントを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">CSCsm51194:Unified CCX Considerations for 07/08 Australia DST Changes</a></li> <li>• <a href="#">重要なお知らせ : FN63090:Cisco Unified Contact Center Express(Unified CCX)およびCisco IP IVR - 2008 AUS夏時間の変更に関する考慮事項</a></li> </ul> <p>西オーストラリア2009:UCCXバージョン4.1および4.5以降の場合は、MCS-OSバージョン2003 1.4(a) SR-9以降にアップグレードする必要があります。次の場所からアップグレードをダウンロードできます。  <a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/tablebuild.pl/cmva-3des?psrtdcat20e2">http://www.cisco.com/cgi-bin/tablebuild.pl/cmva-3des?psrtdcat20e2</a>ダウンロードページで、[IP Telephony] &gt; [Call Control] &gt; [Cisco Unified Communications Manager (CallManager)] &gt; [Cisco Unified Communications Manager Version 4.3]の順に展開し、[Voice Apps OS and BIOS Updates]をクリックして、アップグレードをします。</p>
Unified Customer Voice Portal ( CVP )	<a href="#">C S C s o 2 2 8 9 5</a>	この製品の詳細については、『 <a href="#">CSCso22895:CVPのインストーラは常にCVPを最新のDSTに更新する必要がある</a> 』を参照してください。

<p>Unified Intelligent Contact Management EnterpriseおよびHostedバージョン7.0、7.1以降</p>	<p>N / A</p>	<p>回避策に関する情報は、<a href="#">このドキュメントの「構成と回避策」</a>セクションの「音声とユニファイドコミュニケーション製品」を参照してください。</p>
<p>Unified IP Phone:CP-3911およびCP-3951</p>	<p>C S C s l 9 3 5 8 5 C S C s z 8 6 1 5 6</p>	<p><a href="#">CSCsl93585 - DST:この製品に関する情報を得るには、2008 Australia Summertimeの変更に3951/3911の更新が必要です。</a>  <a href="#">CSCsz86156:DST:3951 2009 W.オーストラリアのDSTの削除に電話のアップデートが必要</a></p>
<p>Unified IP Phone ( 7900シリーズ ):CP-7906G、CP-7911G、CP-7931G CP-7941G、CP-7941G-GE、CP-7942G、CP-7945G CP-7961G、CP-7961G-GE、CP-7962G、CP-7965G CP-7970G、CP-7971G-GE</p>	<p>C S C s l 1 6 5 2 1 C S C s z 8 6 1 5 6</p>	<p>この製品の詳細については、次のドキュメントを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">CSCsl16521:DST:2008年オーストラリアのサマータイム変更に必要な電話の更新</a></li> <li>• <a href="#">CSCsz86156:DST:3951 2009 W.オーストラリアのDSTの削除に電話のアップデートが必要</a></li> </ul>
<p>Unified MeetingPlace</p>	<p>C S C s m 2</p>	<p>この製品の詳細については、次のバグを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">CSCsm22686:Change in Australia DST affected MeetingPlace Audio Server in 2008</a></li> </ul>

	2 6 8 6 C S C S m 2 2 7 4 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">CSCsm22749:Change in Australia DST affected MP GWSIM in 2008</a></li> <li>• <a href="#">CSCsl16516:DST:2008年オーストラリアのサマータイム変更に必要なMCS-OSアップデート</a></li> </ul>
Unified MeetingPlace Express	C S C S m 2 2 6 9 2	この製品の詳細は、『 <a href="#">CSCsm22692：オーストラリアのDSTの変更が2008年のMPEに影響を及ぼす</a> 』を参照してください。
Unified Mobility	C S C S l 2 6 5 8 7	この製品に関する情報は、『 <a href="#">CSCsl26587:オーストラリアのDST変更が必要</a> 』を参照してください。
Unified OS(Linux)	C S C S l 1 6 5 1 9	ユニファイドオペレーティングシステムは、Cisco Unified Communications Manager 5.0以降、Cisco UnityConnection 2.0以降、およびCisco Unified Communications Manager-Business Editionで使用されます。 <a href="#">CSCsl16519 - DST:この製品の詳細については、2008年オーストラリアのサマータイム変更に必要なユニファイドOSの更新を参照してください。</a>
Unified Personal Communicator (CUPC)	C S C S m 2 2	この製品の詳細は、『 <a href="#">CSCsm22680：オーストラリアのDSTの変更が2008年のCUPCに影響を及ぼす</a> 』を参照してください。

	6 8 0	
Unified Presence(CUP)	C S C S   S   1 7 8 7 1 C S C S   S   1 7 8 7 9 C S C S   S   1 7 8 8 6 C S C S   S   1 7 8 9 3	<p>この製品の詳細については、次のバグを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">CSCsl17871:Porting CSCsl04641 to epa(2008 Australia DST TZ, DB)</a></li> <li>• <a href="#">CSCsl17879:Porting CSCsl16508 to epa(2008 Australia DST TZ, JRE)</a></li> <li>• <a href="#">CSCsl17886:Porting CSCsl16500 to epa(2008 Australia DST TZ, RTMT)</a></li> <li>• <a href="#">CSCsl17893:Porting CSCsl16519 to epa(2008 Australia DST TZ, OS)</a></li> </ul> <p>西オーストラリア2009では、この問題はバージョン7.0.4esおよび7.0.5で解決されています。</p>
Unified Provisioning Manager	C S C S   K 8 5 3 0 2	<p>この製品に関する情報は、『<a href="#">CSCsk85302:新しいベネズエラ/オーストラリア/アルゼンチンのタイムゾーン変更のサポート</a>を追加』を参照してください。</p>
Unified Service Statistic Manager(CUSS)	N / A	CUSSMはローカル時間(基盤となるオペレーティングシステムから取得)に依存します。該当するパッチ

M)		をオペレーティングシステムに適用する必要があります。
Unified Survivable Remote Site Telephony ( SRST )	N / A	SRST バージョンは機能セットです。回避策に関する情報は、 <a href="#">このドキュメントの「設定と回避策」</a> セクションの「Cisco IOSソフトウェアプラットフォーム」を参照してください。
Unified System Contact Center Enterprise(System IPCC)バージョン7.0、7.1以降	CSCSO21149	この製品はWindowsとJavaに依存しています。回避策に関する情報は、 <a href="#">このドキュメントの「構成と回避策」</a> セクションの「音声とユニファイドコミュニケーション製品」を参照してください。 <a href="#">CSCso21149 - DST:オーストラリア2008年のサマータイム変更に必要なJRE/JDKの更新</a> を参照してください。
Unified Video Advantage ( C UVA )	CSCSM22682	Unified Video Advantageを変更する必要はありません。オペレーティングシステムに適切なパッチを適用する必要があります。この製品の詳細については、『 <a href="#">CSCsm22682 : オーストラリアのDSTの変更は、2008年のCUVAに影響を与える</a> 』を参照してください。
Unified Video Conferencing ( C UVC )	CSCSM22707	この製品の詳細は、『 <a href="#">CSCsm22707 : オーストラリアのDSTの変更は、2008年のCUVCマネージャに影響を与える</a> 』を参照してください。
Unified Web and E-Mail Interaction Manager(EIM/WIM) with Contact Center Enterprise(CCE )	CSCSM51228	この製品の詳細については、『 <a href="#">CSCsm51228:EIM/WIM with CCE Considerations for 07/08 Australia DST Changes</a> 』を参照してください。 e-
Unified Web and E-Mail Interaction	CSCSM51239	この製品の詳細については、『 <a href="#">CSCsm51239:EIM/WIM with CCX Considerations for 07/08 Australia</a> 』を参照してください。

Manager(EIM/ WIM)と Contact Center Express(CCX) の併用	<a href="#">S</a> <a href="#">m</a> <a href="#">5</a> <a href="#">1</a> <a href="#">2</a> <a href="#">3</a> <a href="#">9</a>	<a href="#">DST Changes</a> を参照してください。
Unified Workforce Optimization(W FO)Quality Management(Q M)	<a href="#">C</a> <a href="#">S</a> <a href="#">C</a> <a href="#">S</a> <a href="#">m</a> <a href="#">5</a> <a href="#">1</a> <a href="#">2</a> <a href="#">4</a> <a href="#">9</a>	この製品の詳細は、『 <a href="#">CSCsm51249:WFO\QM</a> <a href="#">Considerations for 07/08 Australia</a> <a href="#">DST Changes</a> 』を参照してください 。
Unified Workforce Optimization(W FO)Workforce Management(W FM)	<a href="#">C</a> <a href="#">S</a> <a href="#">C</a> <a href="#">S</a> <a href="#">m</a> <a href="#">5</a> <a href="#">1</a> <a href="#">2</a> <a href="#">6</a> <a href="#">2</a>	この製品の詳細については、『 <a href="#">CSCsm51262:WFO\WFM</a> <a href="#">Considerations for 07/08 Australia</a> <a href="#">DST Changes</a> 』を参照してください 。
Unity Connection	<a href="#">C</a> <a href="#">S</a> <a href="#">C</a> <a href="#">S</a> <a href="#">I</a> <a href="#">8</a> <a href="#">8</a> <a href="#">5</a> <a href="#">2</a> <a href="#">6</a> <a href="#">C</a> <a href="#">S</a> <a href="#">C</a> <a href="#">tc</a> <a href="#">2</a> <a href="#">5</a> <a href="#">3</a> <a href="#">2</a> <a href="#">6</a>	この製品の詳細については、次のド キュメントを参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">CSCsl88526:DST:オーストラリ アは2008年に夏時間を延長しま した</a></li> <li>• <a href="#">CSCtc25326:DST:オーストラリ アが2009年10月の夏時間を拒否 する症状</a></li> </ul>
Unity Express(CUE)	<a href="#">N</a> <a href="#">/</a> <a href="#">A</a>	この製品の詳細については、『 <a href="#">FN62682：米国の夏時間(DST)ポリ シーの変更が2007年3月に発効 - 2.3.4より前のすべてのCisco Unity Express(CUE)リリースの対応</a> 』を 参照してください。
Unity Voice Mail	<a href="#">C</a>	この製品の詳細については、次のド

	<a href="#">S</a> <a href="#">C</a> <a href="#">S</a> <a href="#">M</a> <a href="#">3</a> <a href="#">2</a> <a href="#">9</a> <a href="#">4</a> <a href="#">6</a> <a href="#">C</a> <a href="#">S</a> <a href="#">C</a> <a href="#">tc</a> <a href="#">1</a> <a href="#">1</a> <a href="#">0</a> <a href="#">3</a> <a href="#">5</a>	<p>キュメントを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">CSCsm32946:DST Australia Unity:Unityの更新</a></li> <li>• <a href="#">CSCtc11035:西オーストラリアのDST変更</a></li> </ul>
<p>VG248 Analog Phone Gateway</p>	<a href="#">C</a> <a href="#">S</a> <a href="#">C</a> <a href="#">S</a> <a href="#">m</a> <a href="#">2</a> <a href="#">2</a> <a href="#">6</a> <a href="#">9</a> <a href="#">9</a>	<p>VG248アプリケーションの更新は不要です。VG248はCisco Unified Communications Managerからクロック情報を受信します。これは更新する必要があります。この表のUnified Communications Managerエントリを参照してください。この製品の詳細については、『<a href="#">CSCsm22699 : オーストラリアのDSTの変更は、2008年のVG248に影響を及ぼす</a>』を参照してください。</p>
<p>Voice Provisioning Tool ( VPT )</p>	<a href="#">C</a> <a href="#">S</a> <a href="#">C</a> <a href="#">sl</a> <a href="#">1</a> <a href="#">6</a> <a href="#">5</a> <a href="#">1</a> <a href="#">6</a> <a href="#">C</a> <a href="#">S</a> <a href="#">C</a> <a href="#">S</a> <a href="#">z</a> <a href="#">8</a> <a href="#">6</a> <a href="#">1</a> <a href="#">7</a> <a href="#">1</a>	<p>この問題に対処するには、SunのTZUpdater Tool 1.3.3を使用します。詳細については、次のSunページを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Sun Developer Network(SDN)記事 : <a href="#">JREソフトウェアのタイムゾーンデータのバージョン</a></li> <li>• <a href="#">Java SEのダウンロード</a></li> </ul> <p>この製品の詳細については、次のドキュメントを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">CSCsl16516:DST:2008年オーストラリアのサマータイム変更に必要なMCS-OSアップデート</a></li> <li>• <a href="#">CSCsz86171:DST:2009 W.オーストラリアのDST除去に必要なMCS OSアップデート</a></li> </ul>

## ワイヤレス

シスコ製品	シスコ追跡 ID	注意事項
4400 シリーズ ワイヤレス LAN コントローラ	<a href="#">CSCsf99924</a> <a href="#">4</a>	この製品に関する情報は『 <a href="#">CSCsf99924:夏時間(DST)を設定できない</a> 』を参照してください。
アクセスポイントとワイヤレスコントローラ	N/A	
Content Services Gateway(CSG)/Cisco Content Services Gateway 2nd Generation(CSG2)	N/A	変更は不要です。この製品は、Cisco IOSから時間を取得します。
Gateway GPRS Support Node (GGSN)	N/A	変更は不要です。この製品は、Cisco IOSから時間を取得します。
モバイルワイヤレスホームエージェント	N/A	変更は不要です。この製品は、Cisco IOSから時間を取得します。
IP Transfer Point(ITP)	N/A	変更は不要です。この製品は、Cisco IOSから時間を取得します。
WiMax	N/A	変更は不要です。この製品は、Cisco IOSから時間を取得します。

[\[先頭に戻る\]](#)

## 設定と回避策

ここでは、夏時間をサポートする一般的な Cisco プラットフォームに対する回避策や手動設定が含まれています。

利用可能な設定	
シスコプラットフォーム	回避策の利用可能性
<a href="#">Active Network Abstraction(ANA)</a>	Yes

<a href="#">適応型セキュリティ アプライアンス (ASA) と PIX プラットフォーム</a>	Yes
<a href="#">アプリケーションおよびネットワーク サービス</a>	Yes
<a href="#">CatOS プラットフォーム</a>	Yes
<a href="#">CiscoWorks</a>	パッチ
<a href="#">Digital Media Encoder</a>	Yes
<a href="#">Digital Media Manager およびビデオポータル</a>	Yes
<a href="#">侵入検知および防御 (IPS および 侵入検知システム サービス モジュール 2 (IDSM2))</a>	Yes
<a href="#">Cisco IOS ソフトウェア プラットフォーム</a>	Yes
<a href="#">Cisco IOS XR</a>	Yes
<a href="#">NetFlow Collection Engine</a>	Yes
<a href="#">ONS 15000 シリーズの製品</a>	Yes
<a href="#">Security Monitoring, Analysis and Response System ( CS-MARS )</a>	Yes
<a href="#">ストレージ スイッチ ( SAN-OS ) — ストレージ MDS 9500 シリーズ</a>	Yes
<a href="#">音声およびユニファイド コミュニケーション製品</a>	Yes
<a href="#">VPN 3000 コンセントレータ ( Altiga OS )</a>	[いいえ(No)]:3月と11月に手動で設定します。

[\[先頭に戻る\]](#)

## [Active Network Abstraction\(ANA\)](#)

Cisco ANAバージョン3.xにはJava Development Kit(JDK)1.4.2\_13が付属しているため、JDK 1.4.2\_13のリリース以降は、ロケーションの夏時間が変更されている可能性があります。これが正しいと思われる場合は、Sunの夏時間ツールを使用して、Sunが公開した最新の夏時間に更新します。

Sun夏時間ツールを使用するには、次の手順を実行します。

1. SunのWebサイトからJDK US DST Timezone Update Tool - 1.2.2をダウンロードします。URLは次のとおりです。 <http://java.sun.com/javase/downloads/index.jsp>
2. ダウンロードしたzipファイルからtzupdater.jarファイルを抽出し、それをゲートウェイおよびユニットマシンの/tmpにコピーします。
3. すべてのゲートウェイマシンとユニットマシンで次の手順を実行します。マシンに完全にログインします。すべてのAVMプロセスの停止/tmpディレクトリに移動し、次のコマンドを実行します。

```
java -jar tzupdater.jar -u -v 4
```

Cisco ANAシステムを再起動します。

## 適応型セキュリティ アプライアンス (ASA) と PIX プラットフォーム

単一のコンフィギュレーション コマンドを使用して、Cisco PIX または ASA OS を実行しているシステムの DST 設定パラメータを変更できます。特定のデバイスの現在のデフォルト設定を変更するために、このコマンドはいつでもあらゆるデバイスで実行できます。ASAへのプラグインデバイス (ASDM、AIP-SSM、CSC-SSM、およびその他のモジュール) は、ASAから時間がかかります。

```
clock summer-time zone date month date year hh:mm month date year hh:mm [offset]
```

注：サマータイムオプションを使用しない場合、この問題の影響を受けません。[summer-time] オプションを使用していないことを確認するには、次のコマンドを実行します。show run | include summer-time

このコマンドからの出力が表示されない場合、デバイスに対する問題の影響はありません。出力が表示される場合はデバイスがこの問題に該当するため、[Cisco Technical Assistance Center \(TAC\)](#) に連絡して 6.3(5.123) 暫定イメージを入手してください。

[\[先頭に戻る\]](#)

## アプリケーションおよびネットワーキングサービス

アプリケーションサービスおよびネットワーキングサービスでは、タイムゾーンを汎用ゾーンに設定し、そのゾーンに対して独自のサマータイム設定を作成できます。

すべての米国ベースのCE、FE、およびWAEで、次の2つのクロックコマンドを実行します

```
clock timezone GMT-5 -5 0
```

```
clock summertime GMT-5 recurring 2 Sunday March 2:0 2 Sunday November 2:0 60
```

最初のコマンドは、夏時間のない汎用タイムゾーンを設定します。2番目のコマンドは、3月の第2日曜日の午前2時00分、11月の第2日曜日の午前2時00分の時刻を自動的に調整するカスタム夏時間の設定を追加します。

注：この例は、グリニッジ標準時(GMT-5)より5時間遅れたタイムゾーン用です。タイムゾーンに適したオフセットを指定する必要があります。

[\[先頭に戻る\]](#)

## CatOS プラットフォーム

単一のコンフィギュレーションコマンドを使用して、Cisco CatOS リリース 5.4 以降を実行しているシステムの DST 設定パラメータを変更できます。特定のデバイスの現在のデフォルト設定を変更するために、このコマンドはいつでもあらゆるデバイスで実行できます。

```
set summertime recurring [{week} {day} {month} {hh:mm} {week | day | month | hh:mm} [offset]]
```

[\[先頭に戻る\]](#)

## [CiscoWorks](#)

CiscoWorks や Cisco Secure ACS などの管理アプリケーションは、オペレーティング システムで提供される時間を使用します。したがって、DST の問題を解決するには、使用しているオペレーティング システム ( Windows、Solaris など ) の修正が含まれているオペレーティング システムのパッチをインストールする必要があります。

Unified CallManager や ACS アプライアンスなどのシスコによって維持されるオペレーティング システムがプラットフォームに含まれている場合は、シスコがパッチを提供します。[「ネットワーク管理」セクションで該当する製品のリストを参照し、使用している製品のパッチがいつ利用可能になるかを確認してください。](#)

[\[先頭に戻る\]](#)

## [Digital Media Encoder](#)

DMEタイムゾーンと時刻設定を変更するには、次の手順を実行します。

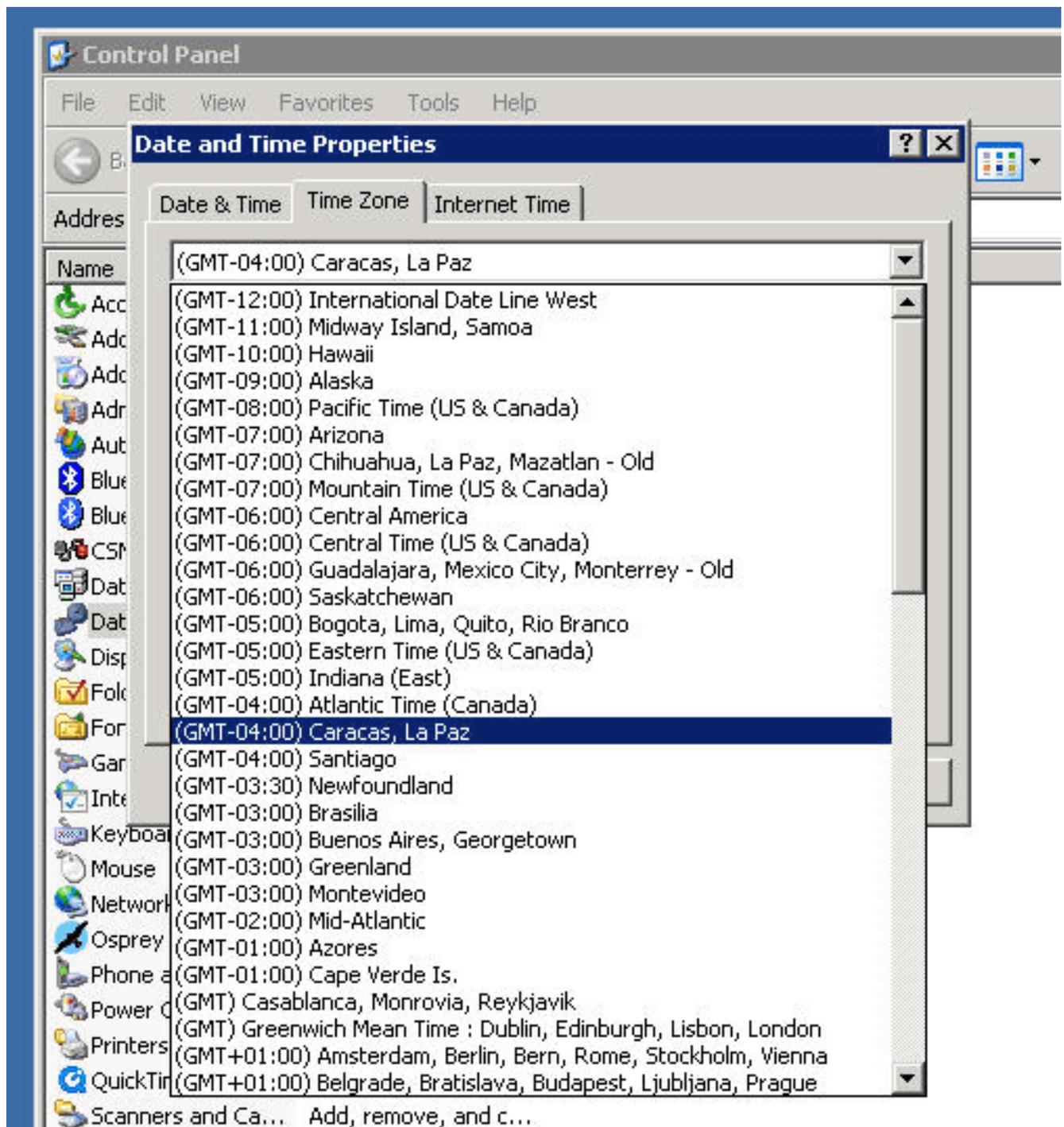
1. DME 1000または2000にアクセスするには、Windowsリモートデスクトップ接続アプリケーションを使用します。



2. ログインするには、次の情報を使用します。DME 1000:ユーザー名= gostreamパスワード=パスワードDME 2000:ユーザー名= niagaraパスワード=パスワード
3. Windowsのスタートメントからコントロールパネルを選択します。

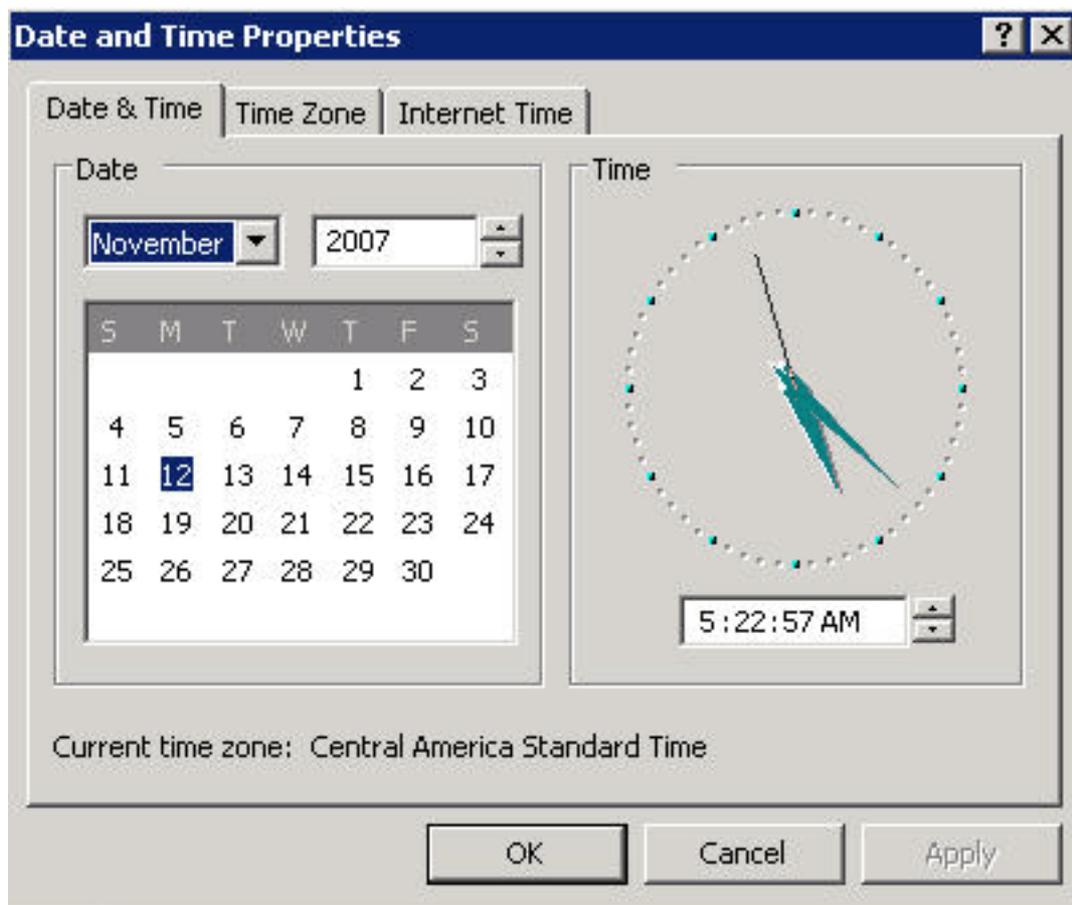


4. [日付と時刻]をダブルクリックします。
5. [Time Zone]タブをクリックし、地域に適用できるタイムゾーンを選択します。



6. [OK] をクリックします。

7. [日付と時刻]タブをクリックし、新しい夏時間に合わせて時刻を調整します。



8. [OK] をクリックします。

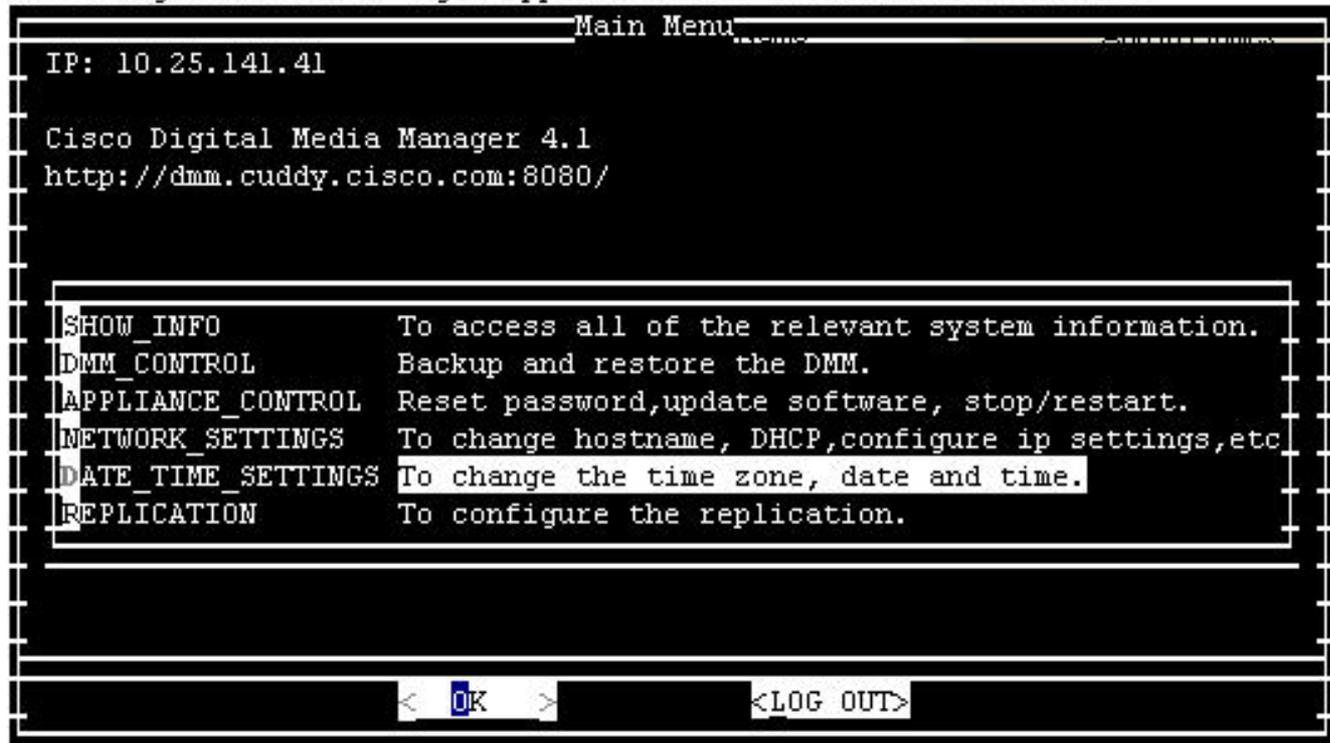
[\[先頭に戻る\]](#)

## [Digital Media Managerおよびビデオポータル](#)

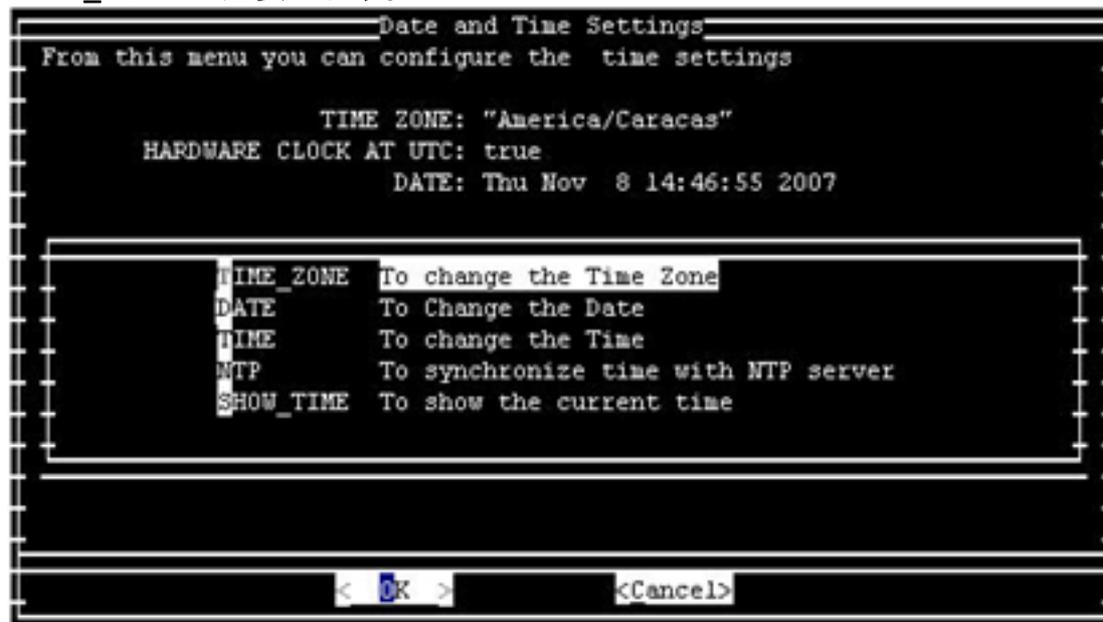
DMMおよびビデオポータルのタイムゾーンと時刻の設定を変更するには、次の手順を実行します。

1. DMM/Video Portalサーバに接続されたKVMまたはセキュアシェル(SSH)クライアントを介して、DMMまたはビデオポータルのアプリケーション管理インターフェイス(AAI)にログインします。
2. DATE\_TIME\_SETTINGSを選択します。

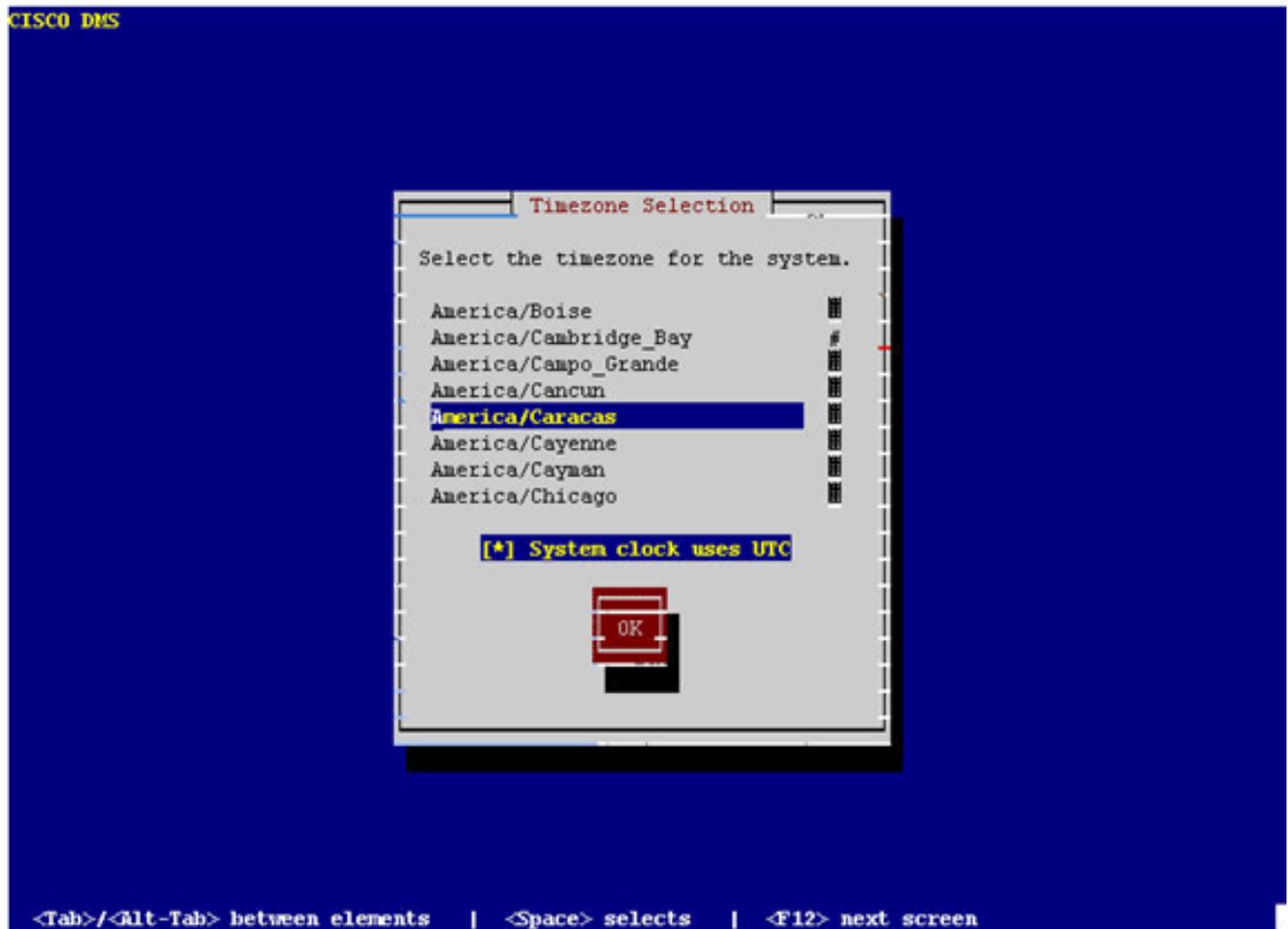
Cisco Digital Media Manager Application Administration Interface



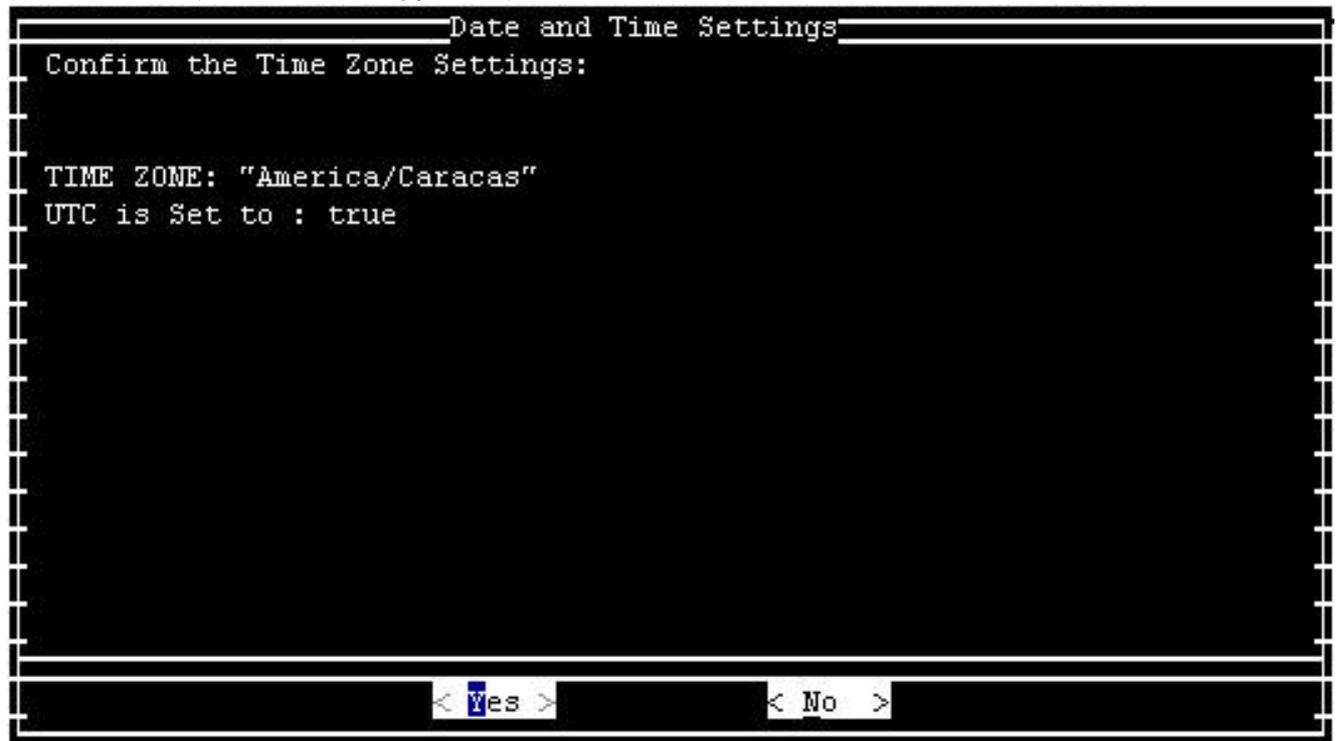
3. OKを選択し、Enterキーを押します。
4. TIME\_ZONEを選択します。



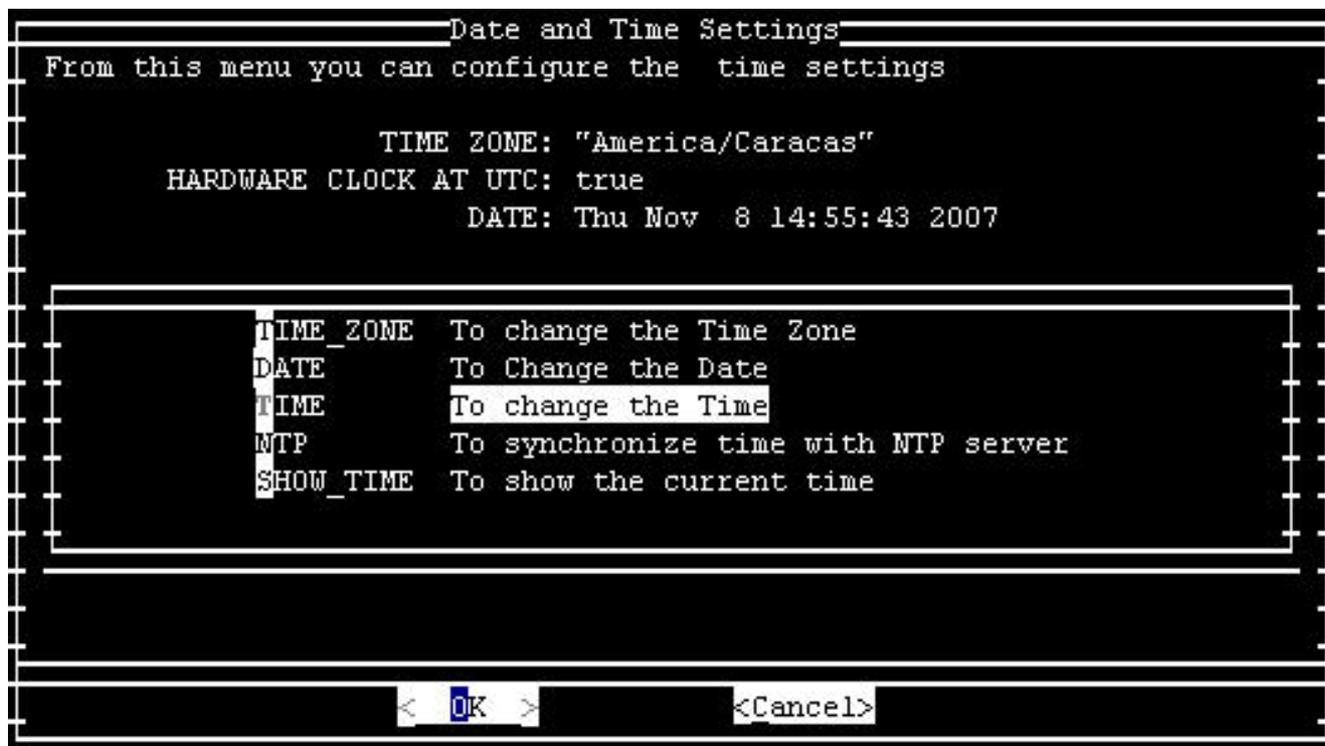
5. OKを選択し、Enterキーを押します。
6. 地域に適用できるタイムゾーンを選択します。



7. OKを選択し、Enterキーを押します。
8. Yesを選択し、Enterキーを押します。



9. [TIME]を選択し、[OK]をクリックします。



10. OKを選択し、Enterキーを押します。

11. 新しい夏時間に時間を調整します。



12. OKを選択し、Enterキーを押します。

注：DMMおよびビデオポータルでは、この手順を実行する必要があります。

[\[先頭に戻る\]](#)

## [侵入検知および防御\(IPSおよび侵入検知システムサービスモジュール2\(IDSM2\)\)](#)

Cisco 侵入検知および侵入防御デバイスで夏時間の設定を変更するには、CLI でセットアップ オプションを使用します。

```

Modify summer time settings? [no]:yes
Recurring, Date or Disable[recurring]:date
Start Month[mar]:

```

Start Week[2]:  
Start Day[sun]:  
Start Time[02:00:00]:  
End Month[nov]:  
End Week[1]:  
End Day[sun]:  
End Time[02:00:00]:  
DST Zone[]: EDT  
Offset[60]:

注：GUIベースの管理パッケージには、必要な変更を行うために使用できる時間ベースのセットアップ画面が含まれている場合があります。

[\[先頭に戻る\]](#)

## [Cisco IOS ソフトウェア プラットフォーム](#)

Cisco IOS DSTの設定パラメータは、1つの設定コマンドで変更できます。デバイスの現在のデフォルト設定を変更するには、このコマンドをいつでも、任意のデバイスで実行できます。

```
clock summer-time zone recurring [{week} {day} {month} {hh:mm} {week | day | month | hh:mm} [offset]]
```

clock summer-timeコマンドの詳細については、『Cisco IOS設定の基礎とネットワーク管理コマンドリファレンス』の「clock summer-time」セクションを参照してください。

[\[先頭に戻る\]](#)

## [Cisco IOS XR](#)

単一のコンフィギュレーション コマンドを使用して、Cisco IOS XR を実行しているシステムの DST 設定パラメータを変更できます。特定のデバイスの現在のデフォルト設定を変更するために、このコマンドはいつでもあらゆるデバイスで実行できます。

```
clock summer-time zone recurring [{week} {day} {month} {hh:mm} {week | day | month | hh:mm} [offset]]
```

[\[先頭に戻る\]](#)

## [NetFlow Collection Engine](#)

NetFlowコレクションエンジンのJREタイムゾーンデータを更新するには、SunのTZUpdater Toolを使用する必要があります。

TZUpdaterツールを使用するには、次の手順を実行します。

1. NFCファイルおよびプロセスを所有するシステムユーザとしてログインします。このアカウントは、NFCのインストール時に指定されました。
2. 現在のumaskが022より大きい制限値に設定されていないことを確認するために、umaskを実行します。umaskが大きい値に設定されている場合は、umask 022を実行します。

3. Sun Microsystemsから最新のTZUpdater Toolをダウンロードします。Sun Onlineアカウントがない場合は、アカウントを作成するよう求められます。ツールに関する情報と、最新バージョンのダウンロード場所へのリンクは、次のURLから入手できます。

[http://java.sun.com/javase/tzupdater\\_README.html](http://java.sun.com/javase/tzupdater_README.html)

4. 一時ディレクトリで、ダウンロードファイルのzip形式の内容を抽出します。これにより、jarファイルtzupdater.jarを含むサブディレクトリtzupdater-versionが作成されます。
5. `/opt/CSCOnfc/bin/nfcollector shutdown`を実行してNFCをシャットダウンします。
6. `ps -ef`を実行します。| `grep java`を実行して、javaプロセスが実行されていないことを確認します。
7. JREタイムゾーンデータを更新するには、次のコマンドを実行します。  
`/opt/CSCOnfc/java/bin/java -jar path-to-tzupdater-files/tzupdater.jar -u`注：Solarisプラットフォームでは、`path-to-java-bin/java` not directly found in contents fileなどのパッケージ関連の警告メッセージは無視します。パッケージの解決は実行されません。（PKG形式ではない、絶対パスではない、またはシンボリックリンクである可能性があります）。
8. Cisco NetFlow Collectorを再起動します。

[\[先頭に戻る\]](#)

## [ONS 15000 シリーズの製品](#)

シスコは、新しいDSTの実装が新しいアルゼンチンのDST時間で正しく変更されるように、ONS 15600、15454、15327、および15310製品のCTCおよびTLソフトウェアにをに変更変更しました。

システム ソフトウェアをアップデートしなかったすべてのシステムは、自動的に以前の夏時間に設定されたルールに従います。つまり、10月の最初の日曜日には、システムが自動的にDSTが有効になったとは推定しないため、システムはクロックを自動的に変更し、不正確な時間を反映します。

2007年のDSTの時間変更に準拠するには、次のオプションを使用できます。

- 使用しているソフトウェアの最新バージョンを入手します。シスコは、次のソフトウェアに新しいDSTの変更を実装しました（または実装します）。リリース 4.1.82リリース 5.0.8リリース 7.0.2以降リリース 7.2.2以降リリース 8.0.x以降このソフトウェアのその他のバージョンは、以前のDSTのルールで引き続き動作します。
- CTCを使用して時間を手動で変更します。ユーザが上記のソフトウェアリリースへのアップグレードを希望しない場合、CTCではDSTを有効または無効にする機能と、ノードの時間を変更する機能が提供されています。ユーザはシステム時刻を手動で制御し、正しい時刻を反映するようにシステムクロックを設定する必要があります。システム時刻を手動で変更する曜日と時刻を決定するには、このドキュメントの「概要」セクションの「夏時間の変更の概要」の表を参照してください。
- TL1 CLIを使用し、時間を手動で変更します。単一のコンフィギュレーション コマンドを使用して、Optical Operating System (ONS) を実行しているシステムのtime-of-dayパラメータを変更できます。コマンドの形式は、次のとおりです。

SET-TOD: [

このコマンドは ONS を実行するオプティカル製品の時間を変更します。ただし、夏時間の開始時刻と終了時刻は変更されず、製品はオペレーション コードで符号化されたデフォルト値を使用します。

上記のカテゴリのいずれにも該当しない場合、各自のアカウント マネージャに問い合わせる必要があります。

注：タイムゾーンの設定と時刻のリセット方法の詳細については、使用するCisco ONSリリースの関連手順ガイドを参照してください。たとえば、Cisco ONS 15454 を使用している場合は、『Cisco ONS 15454 Procedure Guide, Release 7.0』を参照してください。

[\[先頭に戻る\]](#)

## [Security Monitoring, Analysis and Response System \( CS-MARS \)](#)

CS-MARSの時刻を手動で変更するには、次のコマンドを使用します。

```
time [hh:mm:ss]
```

たとえば、時刻を11:15に設定するには、time 23:15:00と入力します。

## [ストレージスイッチ\(SAN-OS\) – ストレージMDS 9500シリーズ](#)

デフォルトでは、MDS SAN-OS は夏時間に対応していないため、ソフトウェアでは DST 設定のデフォルト値は提供されていません。したがって、すべての夏時間の設定に開始日と終了日のパラメータを含める必要があります。

```
clock summer-time zone start_week start_day start_month start_time end_week end_day end_month  
end_time daylight_offset
```

MDS SAN-OS では夏時間の設定のデフォルト値が提供されていないため、コードの変更は必要ありません。SAN-OS の DST の設定は次の理由により、CLI から設定する必要があります。

- DST 設定をサポートしていないため、この設定では複数のスイッチを設定するために Fabric Manager を使用することはできません。
- Cisco Fabric Services では単一のファブリックが複数のタイムゾーンにまたがることがあるため、夏時間の設定をサポートしていません。

[\[先頭に戻る\]](#)

## [音声およびユニファイドコミュニケーション製品](#)

### 背景

システムの準備と計画については、次のMicrosoftのドキュメントを参照してください。

- [Preparing for Daylight Saving Time changes in 2008](#)
- [オーストラリア2008夏時間プランニングガイド](#)

注：これらのドキュメントは、米国の2008年の夏時間の変更だけでなく、グローバルタイムゾー

ンの考慮事項にも適用されます。

次のリストは、特定の音声およびユニファイドコミュニケーション製品の背景情報を示しています。

- ペリフェラルがペリフェラルゲートウェイとは異なるタイムゾーンに設定されているCisco Unified Intelligent Contact Management EnterpriseおよびHostedCisco Unified Intelligent Contact Management(ICM)EnterpriseおよびHosted製品のペリフェラルゲートウェイ(PG)コンポーネントには、2007年より前の夏時間の開始および終了の日付の規則に基づくロジックが含まれているため、2007年の夏時間の変更に対応対応を行います。この考慮事項は、Windowsオペレーティングシステム(上記)のパフォーマンスを増強し、PGによって制御されるペリフェラルが、PG自体とは異なるタイムゾーンで動作するように設定されている場合に適用されます。さらに、これは、次のUnified Intelligent Contact Management(ICM)Enterpriseおよびホステッドペリフェラルタイプにのみ適用されます。Aspect Contact CenterAvaya Definity ECSNortel DMS 100Rockwell SpectrumSymposium ACMI Peripheral ( Unified Contact Center Enterprise Gateway PG ) ペリフェラルが別のタイムゾーンで設定されているかどうかを確認するには、指定したPGでWindowsレジストリエディタを起動し、次の製品レジストリキーの下のTimeZone値を調べます。「n」および「A/B」はそれぞれ、特定のPG番号とサイド指定に基づく変数です。HKLM\Software\Cisco Systems, Inc.\ICM\- Cisco Outbound OptionOutbound Optionのバージョン7.0および7.1(7.1(2)まで)には、2007年より前のDSTの開始日と終了日に関してハードコードされた前提条件を作成するロジックも含まれています。改訂された2007年のDSTポリシーが有効になると、Outbound Optionには結果として廃止されたルールが含まれます。Outbound Optionのバージョン7.0または7.1(7.1(2)まで)を導入しているお客様は、Cisco Unified Intelligent Contact Management EnterpriseおよびHostedまたはCisco Unified Contact Center製品のメンテナンスバージョンをアップグレードする必要があります。次の「ソリューション」セクションでは、必要な最小限のメンテナンスレベルについて説明します。このアップデートは、Windowsオペレーティングシステムのアップデート(および2008年4月以前)に加えて行う必要があります。注：FTCの割り当てられた時間期間外にお客様にダイアルすることは、FTCの規制に違反します。したがって、2008年のDST変更期間よりも前に、メンテナンスアップデートまたは許容可能な回避策を実施する必要があります。連邦法に準拠する責任はお客様にあります。
- Cisco Enterprise Reporting ( Webview ) Unified Contact Center EnterpriseおよびHosted and Unified Intelligent Contact Management(ICM)EnterpriseおよびHosted製品のCisco Enterprise Reporting(Webview)は、JDK/JREに依存しており、Webviewサーバへのアップデートが必要です。JDK/JREバージョン1.4.2に同梱されているWebviewバージョン7.0/7.1は、SunのTZUpdater Toolでアップデートできます。J2SE SDKバージョン1.3.1に同梱されている

WebViewバージョン6.0は、標準のTZUpdater Toolではサポートされていません。WebView 6.0の修復修正を適用するには、J2SE SDK 1.3.1に固有のTZUpdater Toolのバージョンを入手する必要があります。TZUpdater Toolは、次のURLからダウンロードできます。

<http://java.sun.com/javase/timezones/index.html>

- 構成管理サービス(CMS)が有効なDistributor Admin Workstation(AW)CMS Node は、AW 上で ICM Setup を介して有効にされる、Distributor AW のコンポーネントです。CMSは、Cisco Collaboration Server、Cisco E-Mail Manager、およびその他のサードパーティアプリケーションなどのマルチチャネルオプションのシステム設定APIを公開します。また、System IPCC Web Administration ツールおよび Agent Re-Skilling Web Tool n 7.0/7.x によっても使用されています。ノードは、これらの環境での必要に応じてのみ有効にされます。JavaベースのAPIプロバイダーとして、CMSはJDK/JREを使用し、Java環境からの日付と時刻の参照を操作します。JDK/JRE 1.4.2とともに出荷されたCMSのバージョン6.0および7.0/7.xと(で説明されている他のJavaコンポーネントと同様)、改訂されたDST日付移行を適切に処理するには、TZUpdater Toolパッチが必要です。
- System IPCC Web Administration、Agent Re-skilling Web Tool (非 System IPCC) System IPCC Web Administration インターフェイス (Web ベースのコンフィグレーション) と Agent Re-skilling Web Tool 機能では、どちらも Java テクノロジーが展開され、JDK/JRE バージョン 1.4.2 (グローバル インストール) が活用されています。どちらの場合も、日付と時刻のコンテキスト (Javaランタイム環境から取得) は、アプリケーションログファイルのタイムスタンプに制限されます。TZUpdater Toolパッチを使用してJDK/JRE環境をアップデートすることを推奨します。
- Cisco Computer Telephony Integration(CTI)オプション(Cisco Toolkit Java API Desktop)Cisco CTI ツールキット Java 統合ライブラリ API (Java CIL) には JDK/JRE が必要で、日付/時刻のコンテキスト用に JDK/JRE を活用しています。バージョン6.0および7.0/7.1は、元々1.4.2 JDK/JREの以前のバージョンに同梱されており、それぞれTZUpdaterツールパッチの候補です。

## 問題の症状

次のリストは、問題の症状を特定します。

- Microsoft Windows の考慮事項前述のように、特定のWindowsバージョンに関連する Microsoftの推奨事項を使用してWindowsオペレーティングシステムを更新しないと、コンタクトセンターソリューションのさまざまな側面からの正確な時間と日付の参照が不正確になります。特に30分のデータレポートレコードが展開される場合は、この通知に従ってCisco Outbound Optionを更新してもWindowsオペレーティングシステムを適切に維持できない場合など、メンテナンスが不完全な場合に予期しない状況が発生する可能性があります。
- ペリフェラルがペリフェラルゲートウェイとは異なるタイムゾーンに設定されているCisco Unified Intelligent Contact Center Management EnterpriseおよびHosted2008年4月上旬より前に製品バージョンを必要なメンテナンスレベルに更新できないタイムゾーンにPeripheral Gateway(PG)を導入したお客様では、30分のレポートデータの更新と時間の移動に伴う重複データので問題がが発生します。注：これらの問題は、異なるタイムゾーンに存在する周辺機器を持つシステムを誤って設定したお客様によって、2008年のオーストラリアの夏時間の変更の前にも発生する可能性があります。
- Cisco Outbound OptionOutbound Option 7.0または7.1(7.1(2)まで)の最低限の推奨メンテナンスレベルへのアップグレードに失敗すると、2008年4月のオーストラリア夏時間の変更が始まり、不正確で予測不可能な間隔でコールが発信されます。特定の症状が 2 つ予想されます。アウトバウンドコールセンターは、キャンペーン時間の開始から1時間後に顧客にダイヤルできません。アウトバウンドコールセンターは、キャンペーンの終了時間から1時間、顧客に

ダイヤルし続けます。

- *Cisco Enterprise Reporting ( Webview )* 前述のメンテナンスでWebViewサーバJDK/JREをアップデートしないと、履歴とリアルタイムの両方で、レポート全体の日付と時刻の参照が不正確になる可能性があります。さらに、ジョブスケジューラ、お気に入りのレポート、イベントビューアなどの時間依存レポートを使用するWebView機能には、誤った時刻と日付のコンテキストが含まれる場合があります。また、ログファイルイベントエントリのタイムスタンプが誤解を招く可能性があります。レポートの生成と一般的な機能は、これらの日付と時刻の参照を除き、期待どおりに動作し続けます。
- *構成管理サービス(CMS)が有効なDistributor Admin Workstation(AW)CMSが有効になっている場合にのみCMSに対応するには、ディストリビュータAW JDK/JREを更新する必要があります。* CMSはイベントのロギングのために日付と時刻の情報を使用します。JRE/JDKアップデートを適用できない場合は、誤ったタイムスタンプが発生し、必要な問題の診断や切り分けの作業が妨げられる可能性があります。注：CMSノードのチェックボックスをオンにすると、AWセットアップ内でCMSを有効にできます。
- *System IPCC Web Administration、Agent Re-skilling Web Tool ( 非 System IPCC )* 上記のCMSのケースなど、これらのWebベースの設定ツールで使用されているJDK/JREをアップデートしないと、ログファイルイベントエントリのタイムスタンプが誤解され、問題の診断や切り分けの作業に支障を来す可能性があります。
- *Cisco Computer Telephony Integration Option ( Cisco Toolkit Java API Desktop ) 2008 Australia*夏時間のJDK/JREアップデートでJava CIL CTI Desktop環境をアップデートしないと、予期しない日付と時刻の参照が発生する可能性があります。この問題は、APIおよびアプリケーション設計の特定の使用に応じて一部異なります。

## 解決方法

このリストでは、次の製品のソリューションについて説明します。

- *Microsoft Windows の考慮事項*このセクションの「背景説明」セクションで参照されているMicrosoftのガイドラインに従って、Windowsシステムアップデートを適用します。質問や特別な考慮事項の問題は、Microsoft に直接お問い合わせください。Cisco EnterpriseおよびHosted Contact Centerのお客様は、独自のWindows Serverオペレーティングシステムを管理する必要があります。
- *ペリフェラルがペリフェラルゲートウェイとは異なるタイムゾーンに設定されているCisco Unified Intelligent Contact Management EnterpriseおよびHosted*シスコは、該当するPG Peripheral Information Manager(PIM)コンポーネントに対して、PGとは異なるタイムゾーンにある2007夏時間(dst)対応の変更を行いました。これらの更新は、次のメンテナンスバージョンのソフトウェアに含まれています。Intelligent Contact Management(ICM)Enterpriseバージョン6.0 SR9以降IP Contact Center(IPCC)Enterpriseバージョン6.0 SR9以降Cisco Unified Contact Center EnterpriseおよびHostedバージョン7.1(3)以降Cisco Unified Intelligent Contact Management EnterpriseおよびHostedバージョン7.1(3)以降バージョン 6.0 のサービス リリース 9 は 2007 年 1 月にリリースされており、各 7.1 製品の 7.1(3) メンテナンス バージョンは 2006 年 12 月にリリースされています。アップデートを入手するには、バージョン7.0 ( サービスリリースを含む ) を現在導入しているお客様が、メンテナンスリリース7.1(3)にアップグレードする必要があります。PGとは異なるタイムゾーンにACDがあり、EnterpriseまたはHostedソフトウェアの必要なバージョンにアップグレードできない ( またはアップグレードしない ) お客様は、次の回避策を使用できます。PGとACDをACDと同じタイムゾーンに設定し ( 地理的には異なる )、このセクションの「背景説明」の項で説明されているTimeZoneレジストリ値を削除 ( またはマイナス1に設定 ) します。これは、上記のバージョンメンテナンスは必要ありませんが、Windowsオペレーティングシステムの夏時間パッチが必要です。注

- ：複数のタイムゾーンを横断するACDを備えた単一のPGサーバから複数のペリフェラルを展開するお客様は、この回避策を使用できません。このようなトポロジには、推奨される製品バージョンパッチとWindowsアップデートが必要です。上記の回避策が適用されているかどうかに関係なく、Windowsオペレーティングシステムパッチを適用する必要があります。
- *Cisco Outbound Option*アウトバウンドオプションを2007 DST変更に対応させるには、該当するオペレーティングシステムバージョン（上記）にWindowsオペレーティングシステムのアップデートを適用し、Cisco Unified Contact Center EnterpriseまたはHostedおよびCisco Unified Intelligent Contact Management EnterpriseまたはHostedソフトウェアの最低限メンテナンスレベルにアップグレードする必要があります。アップグレード要件は、Cisco Outbound Option 7.0（任意のサービスリリース）、7.1(1)、または7.1(2)を実行しているお客様にのみ適用されます。必要な最低限のメンテナンスアップデートバージョンは次のとおりです。Cisco Unified Contact Center Enterprise および Hosted バージョン 7.1(3) Cisco Unified Intelligent Contact Management Enterprise および Hosted バージョン 7.1(3)現在のバージョン7.0、7.1(1)、および7.1(2)のお客様のソフトウェアアップグレードの代わりに、オーストラリアの夏時間の変更に対して次の回避策を使用することで、ダイヤル時間のシフトと発信コール時間に関するFTCの準拠を回避できます。キャンペーンの開始時刻と終了時刻を、2008年3月の最終日曜日から2008年4月の第1日曜日まで、2008年10月の第1日曜日から2008年10月の第2日曜日まで1時間前に設定します..注：推奨される方法として、適切なソフトウェアメンテナンスレベルにアップデートすることを強く推奨します。
  - *Cisco Enterprise Reporting ( Webview )* WebView 7.0/7.1では、Sun TZUpdater Toolを使用してJDK/JREバージョン1.1.2をアップデートします。WebView 6.0では、TZUpdater Toolを使用してJ2SE SDKバージョン1.3.1をアップデートしてください。Readmeのインストールをの前にに注意してください..注：TZUpdater Toolを使用できない場合は、J2SE SDKをアップグレードしてください。JDK/JREは、WebViewサードパーティインストーラを使用して最初にインストールされたJDK/JREと同じドライブのディレクトリにインストールする必要があります。WebViewサーバを新しいバージョンのJ2SE SDK 1.3.1に更新する場合は、次の手順を実行します。SunのWebサイトからJ2SE SDK 1.3.1をダウンロードしてください。URL:<http://java.sun.com/javase/timezones/index.html>WebViewサービスを停止して開始します。[Start] > [Programs] > [Administrative Tools] > [Services] を選択します。[IIS Admin Service] を右クリックします。「停止」を選択します。この操作によってWorld Wide Web Publishing Serviceが停止したことを通知するアラートが表示されます。SDKを、WebViewサードパーティインストーラを使用して最初にインストールされた同じドライブの推奨ディレクトリにインストールします。WebView を再起動します。[Windows Service Control Panel]を開きます。[World Wide Web Publishing Service]を選択し、[Start]をクリックします。
  - *Configuration Management Service ( CMS )* が有効になっている *Distributor AWJDK/JRE*バージョン1.4.2\_xとともに出荷されたAW CMSノードのバージョン6.0と7.0/7.1の両方。TZUpdater Tool（登録ユーザ専用）を使用すると、適切な夏時間の更新を適用できます。この製品は JDK/JRE のストレート（グローバル）インストールを使用するため、明示的にパスを指定する必要はありません。インストールを続行する前に、readmeファイルを注意深く読むことをお勧めします。
  - *System IPCC Web Administration, Agent Re-skilling Web Tool ( 非 System IPCC )* JDK/JREバージョン1.4.2\_xに同梱されているこれらのWebベース設定ツールのバージョン7.0/7.1。TZUpdater Tool（登録ユーザ専用）を使用すると、適切な夏時間の更新を適用できます。この製品は JDK/JRE のストレート（グローバル）インストールを使用するため、明示的にパスを指定する必要はありません。インストールを続行する前に、([Java SE](#)) [Timezone Updater Tool Readme](#)ファイルを注意深く読むことをお勧めします。
  - *Cisco Computer Telephony Integration Option ( Cisco Toolkit Java API Desktop )* Java CILオプション(JDK/JREバージョン1.4.2\_x)のバージョン6.0および7.0/7.1では、適切な夏時間アッ

アップデートを適用するためにTZUpdater Tool(TZUpdater Tool)を使用します。この製品はJDK/JRE のストレート ( グローバル ) インストールを使用するため、明示的にパスを指定する必要はありません。インストールを続行する前に、[\(Java SE\) Timezone Updater Tool Readmeファイル](#)を注意深く読むことをお勧めします。

- *CTI Desktop*一般に、Java CILを使用するEnterpriseおよびHosted Contact Center製品コンポーネントは、夏時間の開始と終了のイベントのタイミングを含むタイムゾーンのコンテキストを表示するために、基盤となるRed Hat Linuxオペレーティングシステムに依存します。このため、すべてのEnterpriseおよびHosted Contact Centerのお客様は、2007年の夏時間の変更に対してシステムが更新されるよう、Red HatのLinuxシステムメンテナンスに関するガイドンスに従う必要があります。タイムゾーンのアップデートは Red Hat Network から入手可能です。システムを更新するには、次のコマンドを使用してRed Hat Update Agentを起動します。**up2date** または **up2date -u tzdata** このコマンドは、システム上で適切なRPMがアップグレードされる対話型プロセスを開始します。更新ツールは、世界中のさまざまなタイムゾーンのルールを持つデータファイルを含むtzdataパッケージを更新します。現在リリースされているCTI製品のJRE/JDKにtzupdaterを適用する必要があります。現在サポートされているJRE/JDKは1.4.2\_13です。JavaCIL 6.0はRed Hat Linux Enterprise 3.0で動作し、JavaCIL 7.0/7.1はRed Hat Linux Enterprise 4.0で動作します。

注：夏時間の変更の認識に対応するために、説明されているMicrosoft Windowsの手順は、古いIntelligent Contact Management(ICM) EnterpriseまたはHostedおよびIP Contact Center(IPCC)EnterpriseまたはHosted製品にも実装する必要があります必要なシスコのメンテナンスアップデートを取得するためにサポートされているメジャーバージョンレベル。アップグレードを行わないお客様は、6.0および7.xのインストールに対して提供されている回避策に従うことをお勧めします。販売終了[およびサポート終了製品ページ](#)を参照してください。

## VPN 3000 コンセントレータ ( Altiga OS )

Altiga OS を実行しているシステムの DST の設定パラメータは変更できません。現在、Altiga OS の 4.1 および 4.7 リリースでは、以前の設定どおりに夏時間のデフォルト設定を使用するため、サマータイム機能を有効にすることができます。この問題を回避するには、2008年4月6日に新しい夏時間が発生する1時間前の時刻を設定する必要があります。これらのデバイスではDSTを無効にして、デバイスが10月の第1日曜日にクロックを先に設定しないようにします。

注：このセクションに記載されている情報は、修正済みコードが利用可能になった後に修正済みコードにアップグレードしないことを選択した場合の回避策です。

夏時間を無効にして、次の図に示すように、クロックの時間を進めて設定します。

Configure the time and date.



Setting the time on your VPN 3000 Concentrator is very important, so that logging and accounting information is correct.

The current time on the device is Monday, 01 October 2001 16:23:44.

New Time  :  :   /  /

Enable DST Support

Apply

Cancel

68234

## 背景説明

夏時間(SA) [www.eric.sa.gov.au](http://www.eric.sa.gov.au) : このページでは、南オーストラリアの時刻に関する情報を提供します。このページには、南オーストラリアのサマータイムと、南オーストラリアでの夏時間の開始と終了に関する情報が記載されています。

Daylight Saving Dates (Vic) [www.vic.gov.au](http://www.vic.gov.au) : このページでは、ビクトリア州の夏時間に関する情報を提供します。

Daylight Saving in New South Wales [www.lawlink.nsw.gov.au](http://www.lawlink.nsw.gov.au) : このページでは、New South Walesの時間に関する情報を提供します。このページには、東部標準時と、NSWでの夏時間の開始と終了に関する情報が記載されています。

WAでの夏時間 <http://wa.gov.au> : 2006年12月3日に西オーストラリアで夏時間の3年間のトライアルが開始されました。このサイトは2007年と2008年のサマータイムです。

ACT [www.cmd.act.gov.au](http://www.cmd.act.gov.au)の夏時間と祝日 : このページでは、オーストラリアの首都における夏時間と祝日に関する情報を提供します。2007/08夏の夏時間と2007/2008年の祝日の日付が掲載されています。

Tasmania's Daylight Saving Arrangement [www.dpac.tas.gov.au](http://www.dpac.tas.gov.au) : このページでは、Tasmaniaの夏時間に関する情報を提供します。このページには、この期間の他の状態の時間に関する情報も表示されます

[\[先頭に戻る\]](#)

ドキュメント ID : 100509

## 関連情報

- [JREソフトウェアのタイムゾーンデータのバージョン](#)
- [Java Technology Bug ID 6595137](#)
- [Microsoft Windowsオペレーティングシステム用の2007年12月の累積タイムゾーンの更新](#)
- [Red Hat Linux 6.2: 『The Official Red Hat Linux Alpha/SPARC Installation Guide - Time Zone Configuration』](#)

- [オーストラリア政府の Web サイト](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)